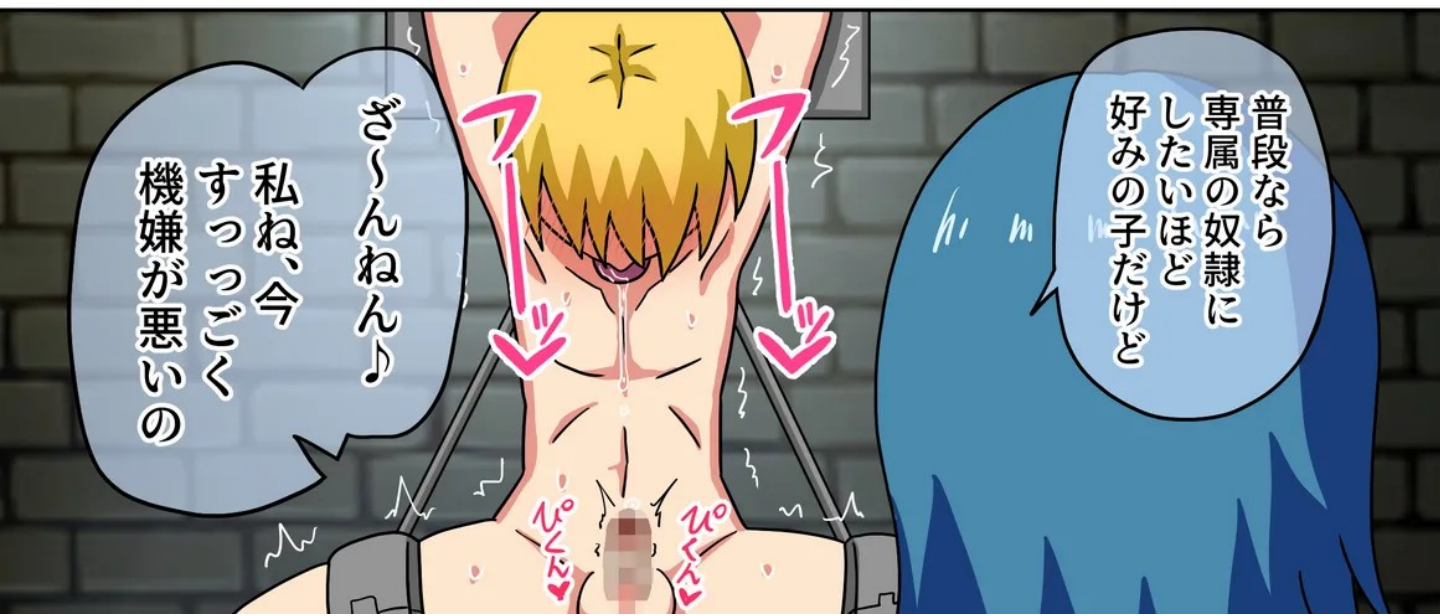
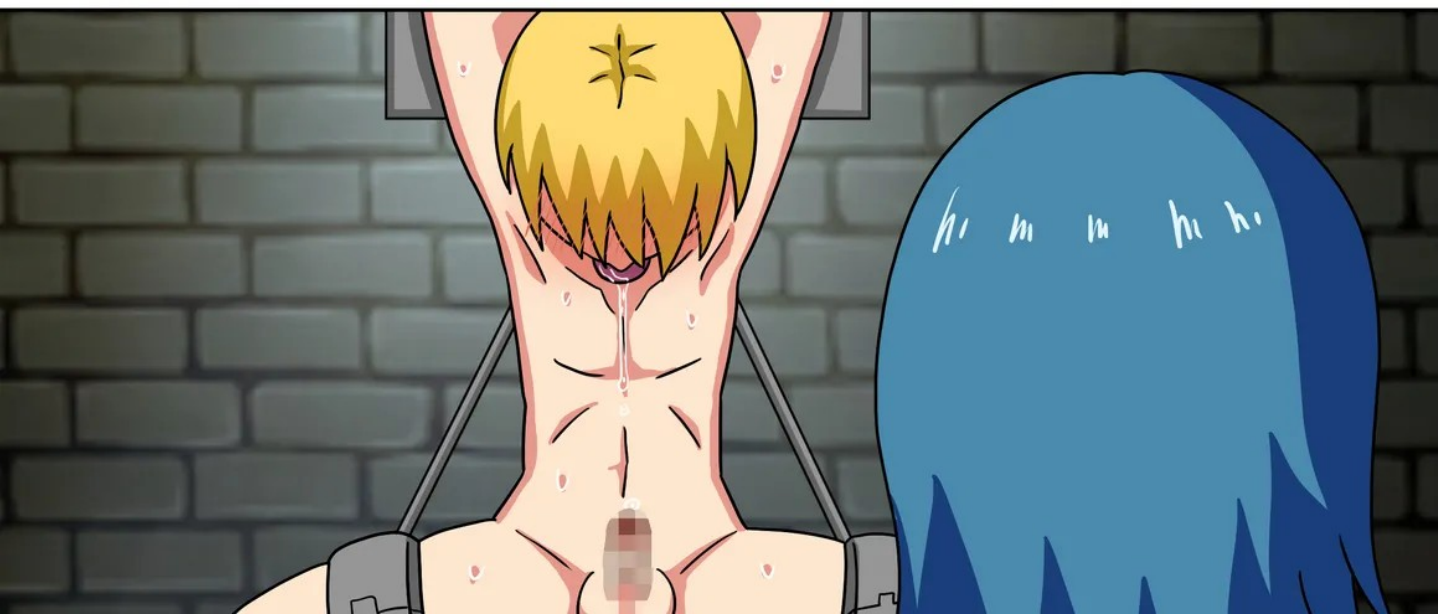
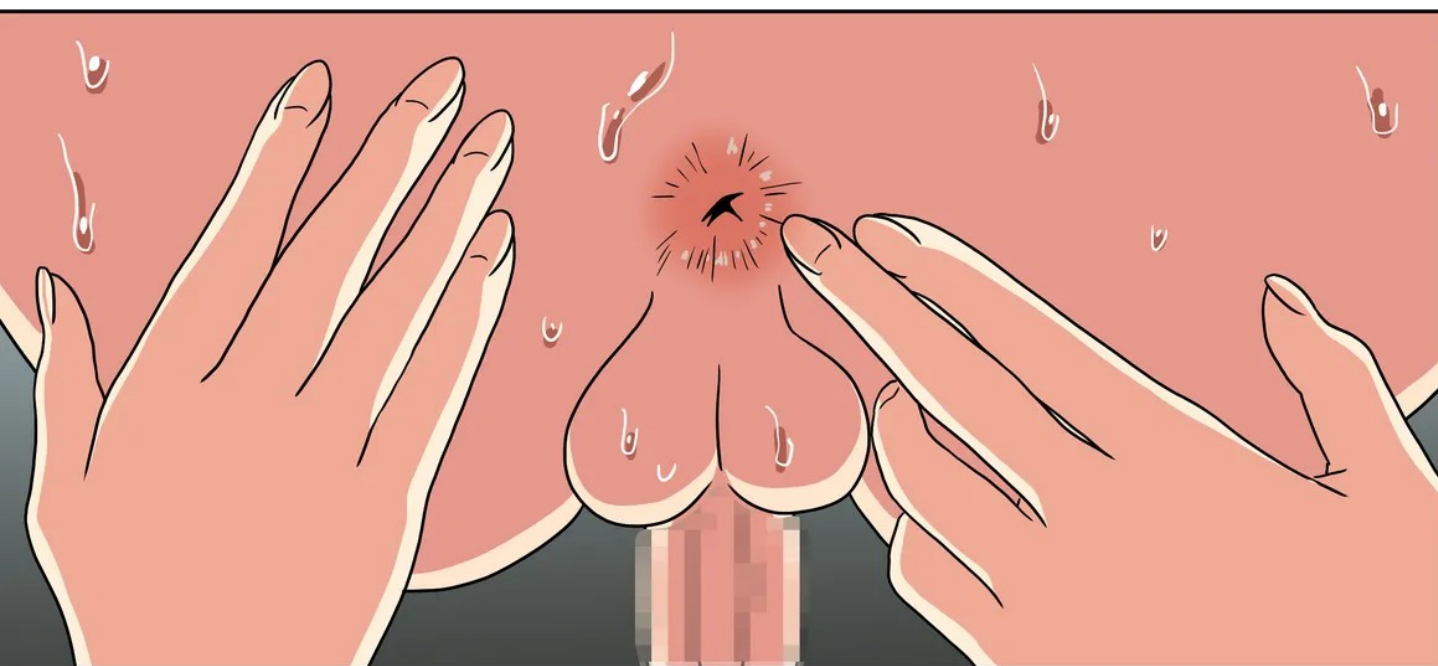


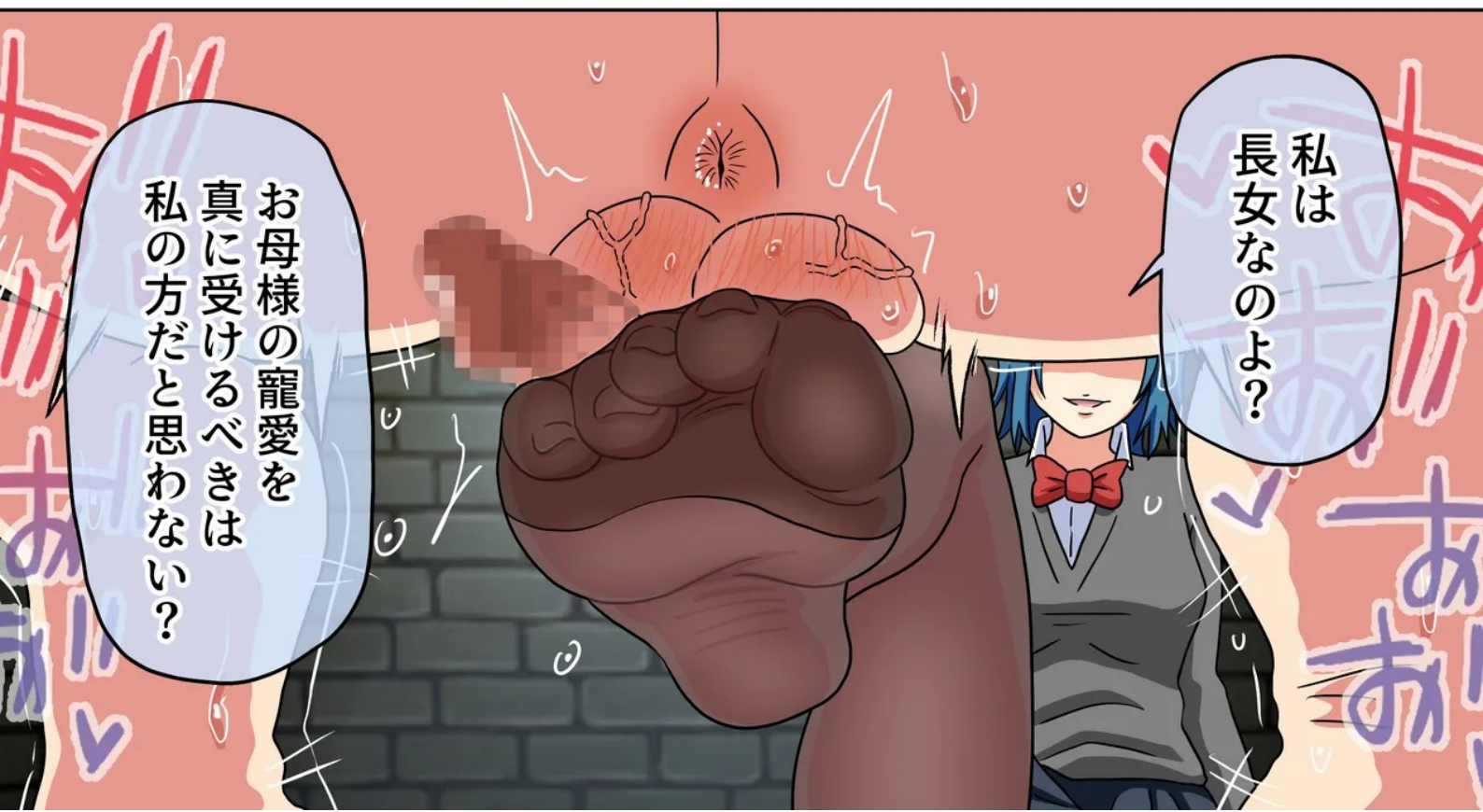


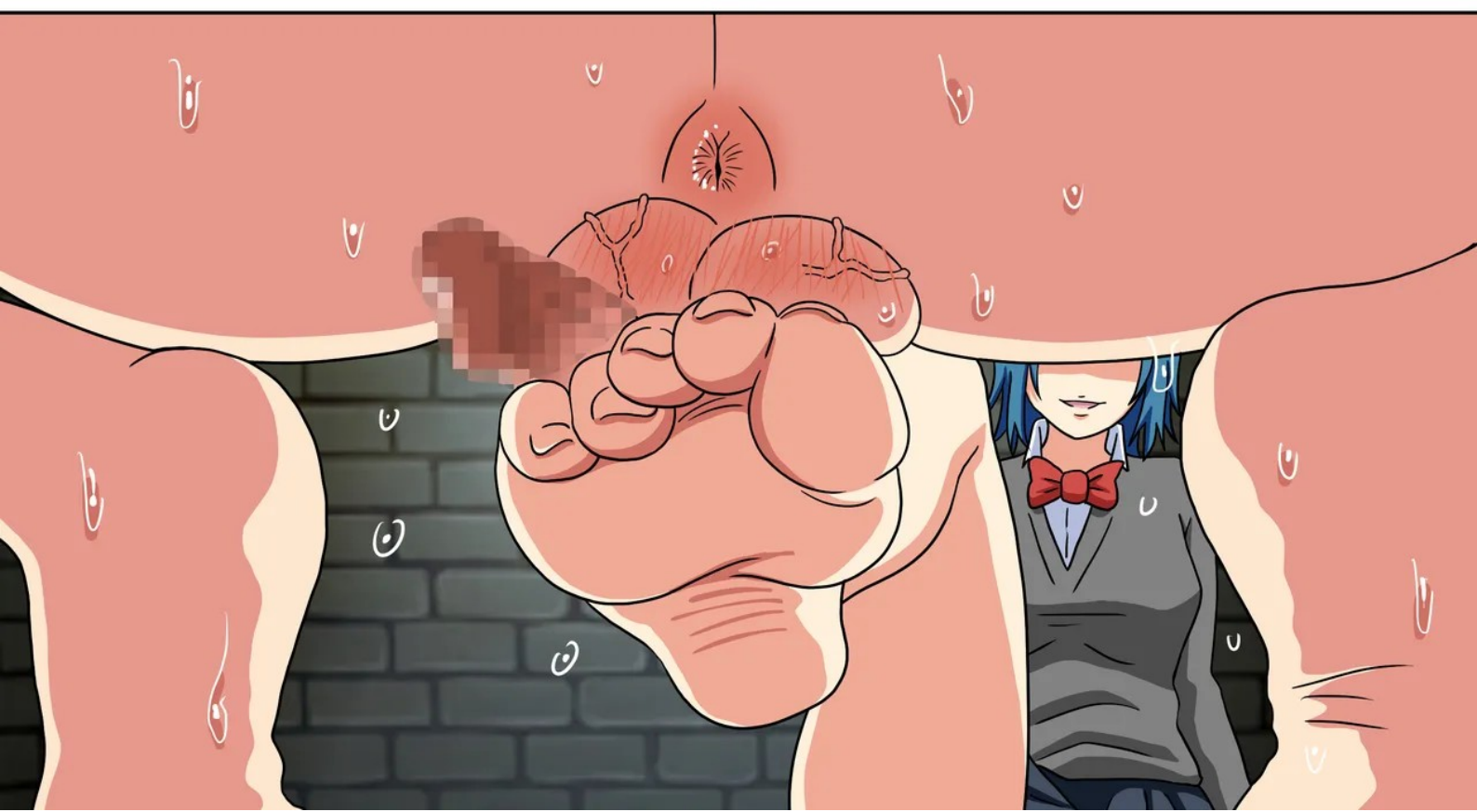


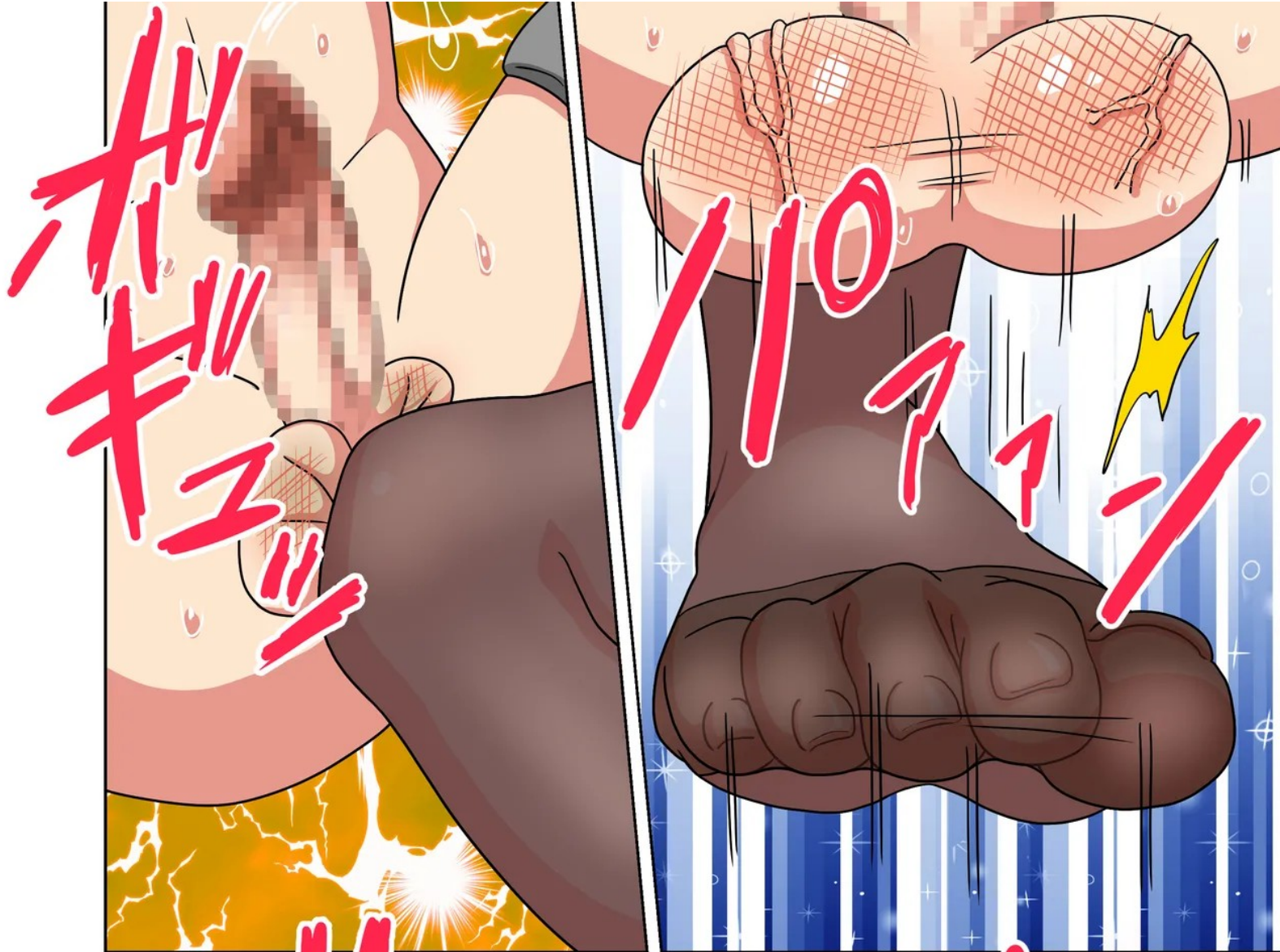


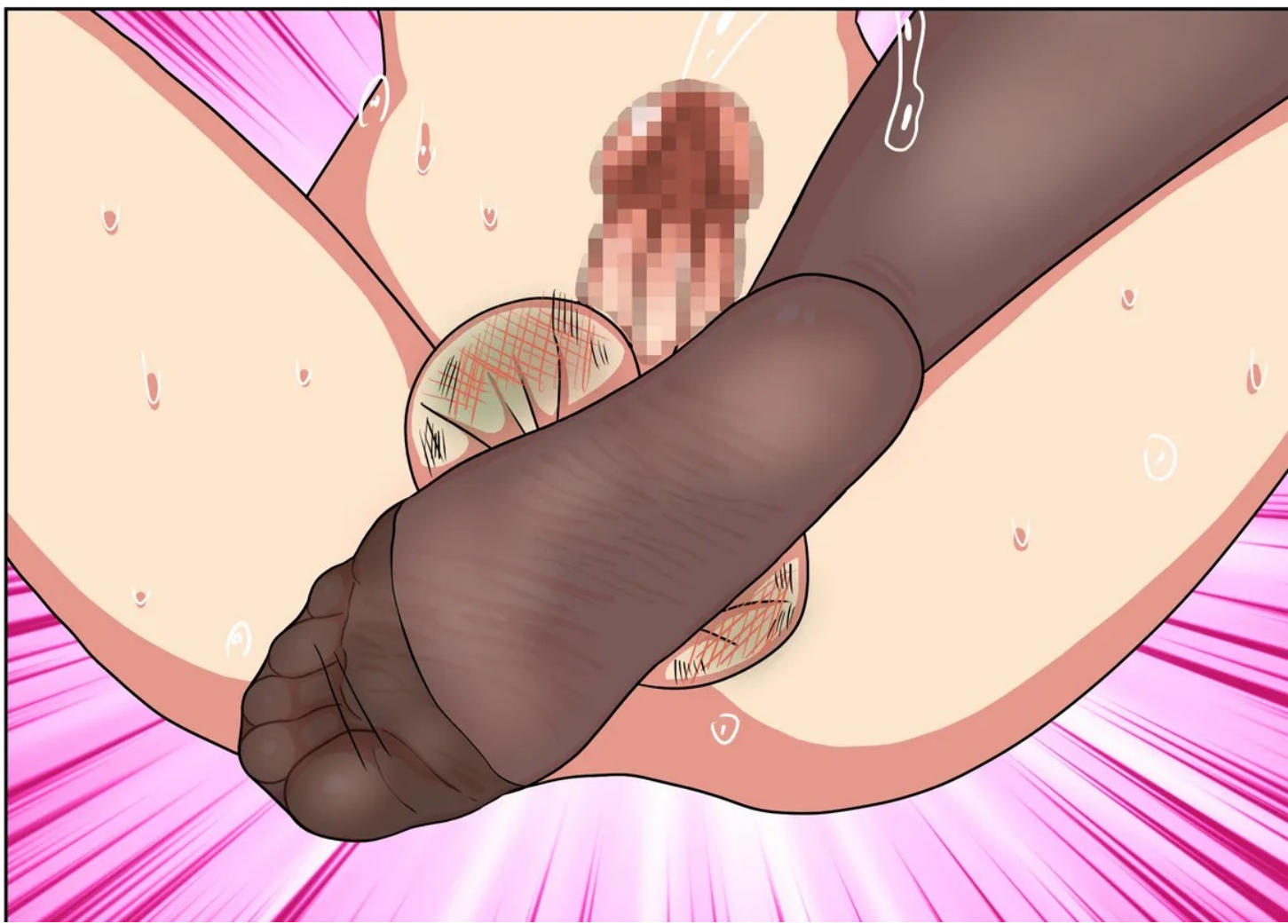
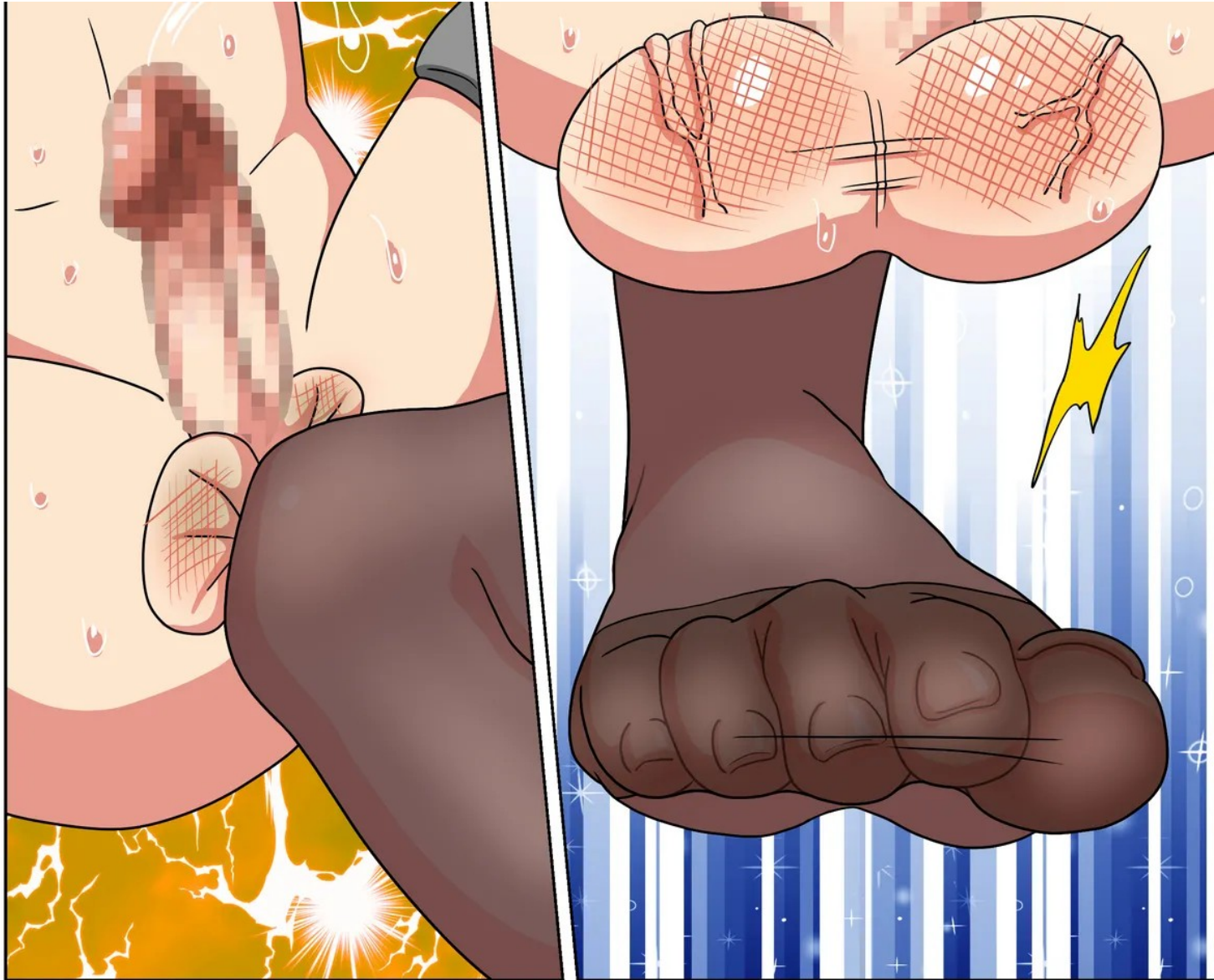


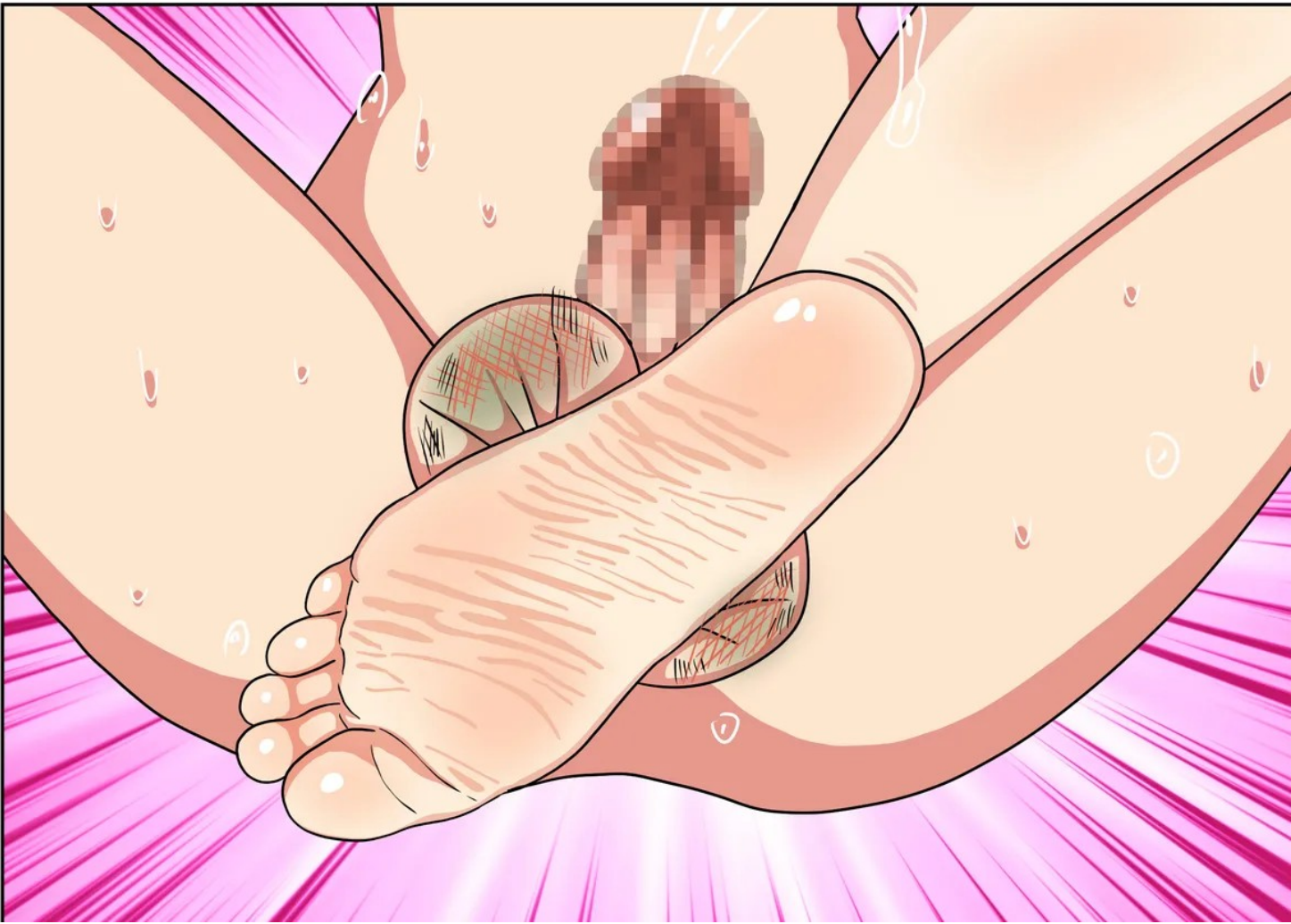
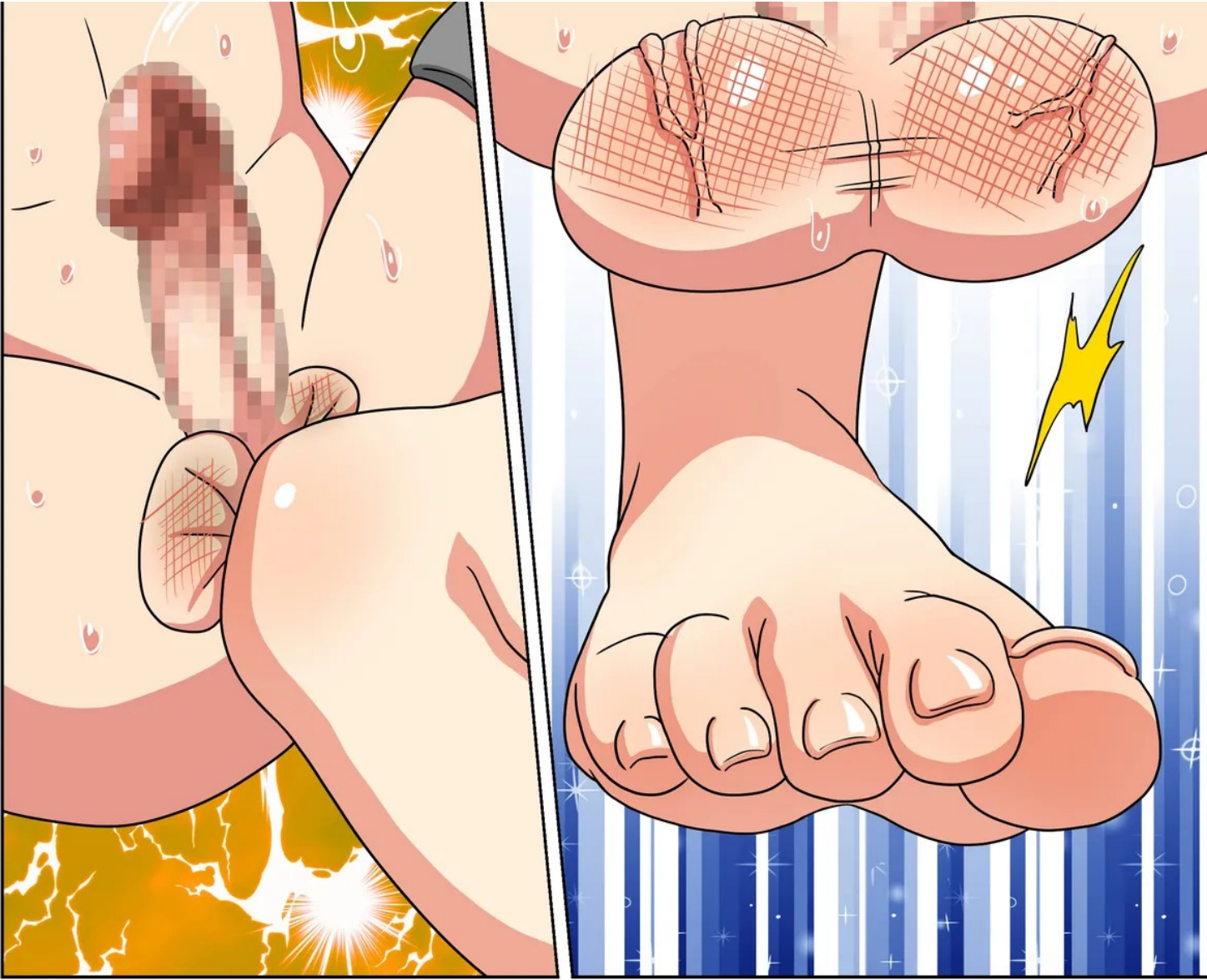


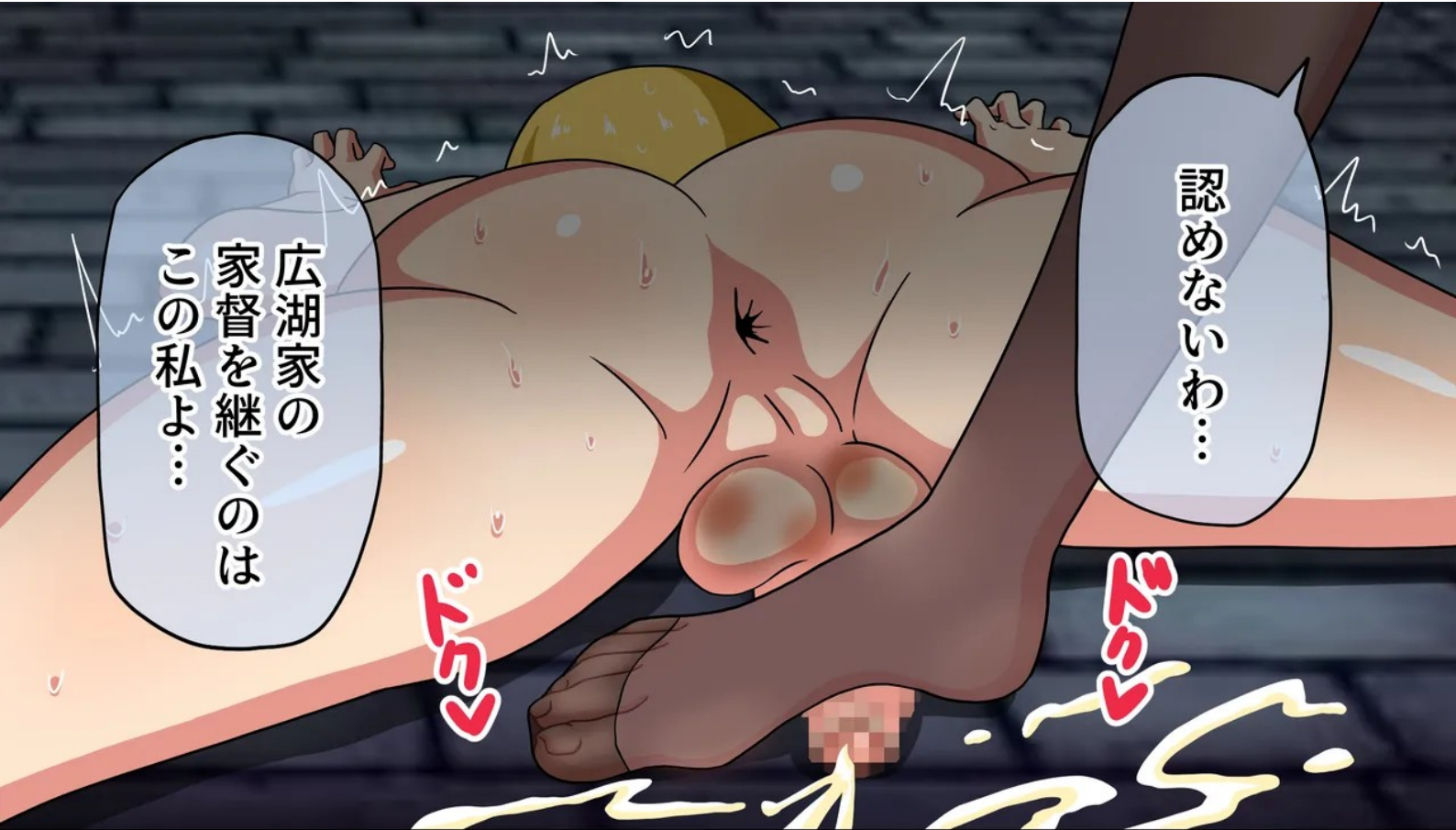


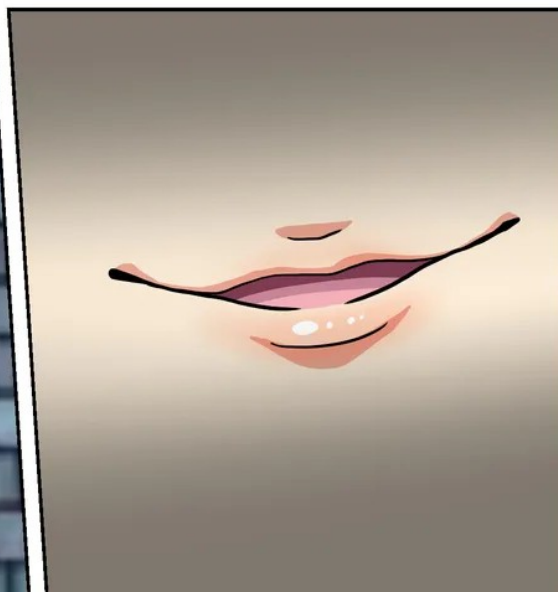
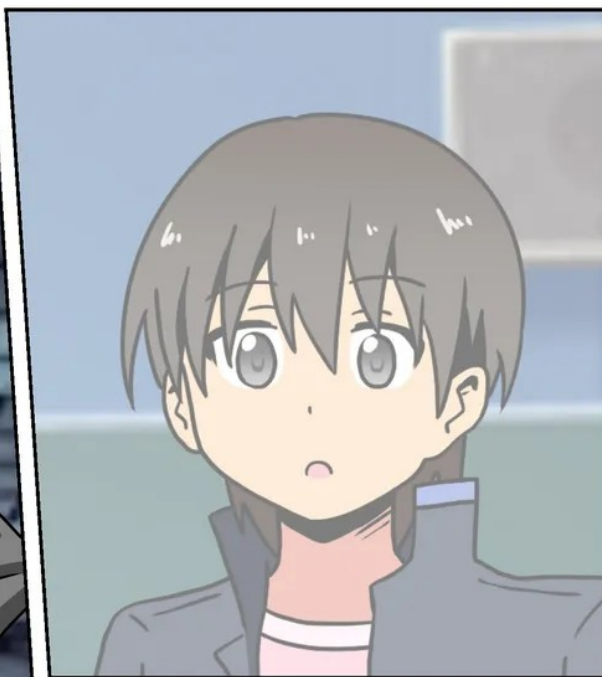


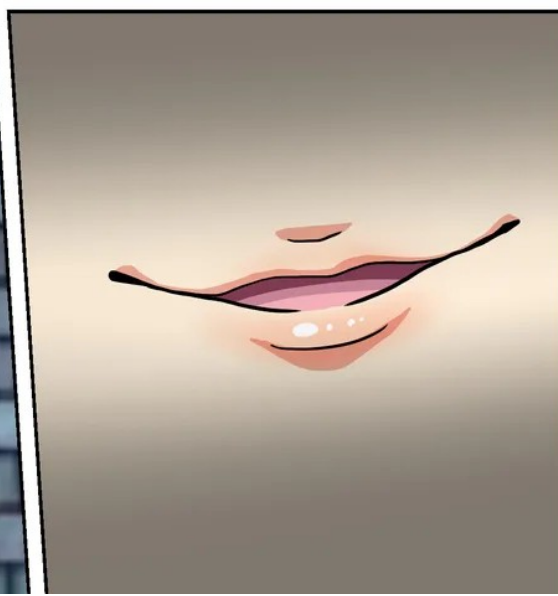
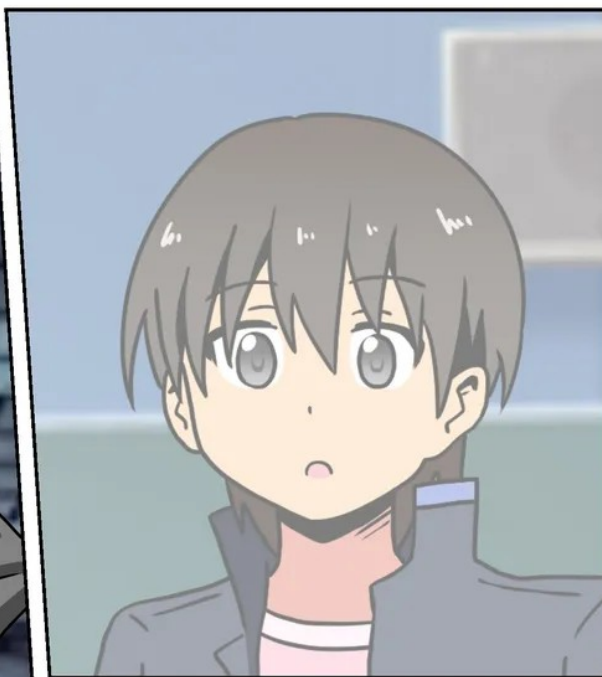
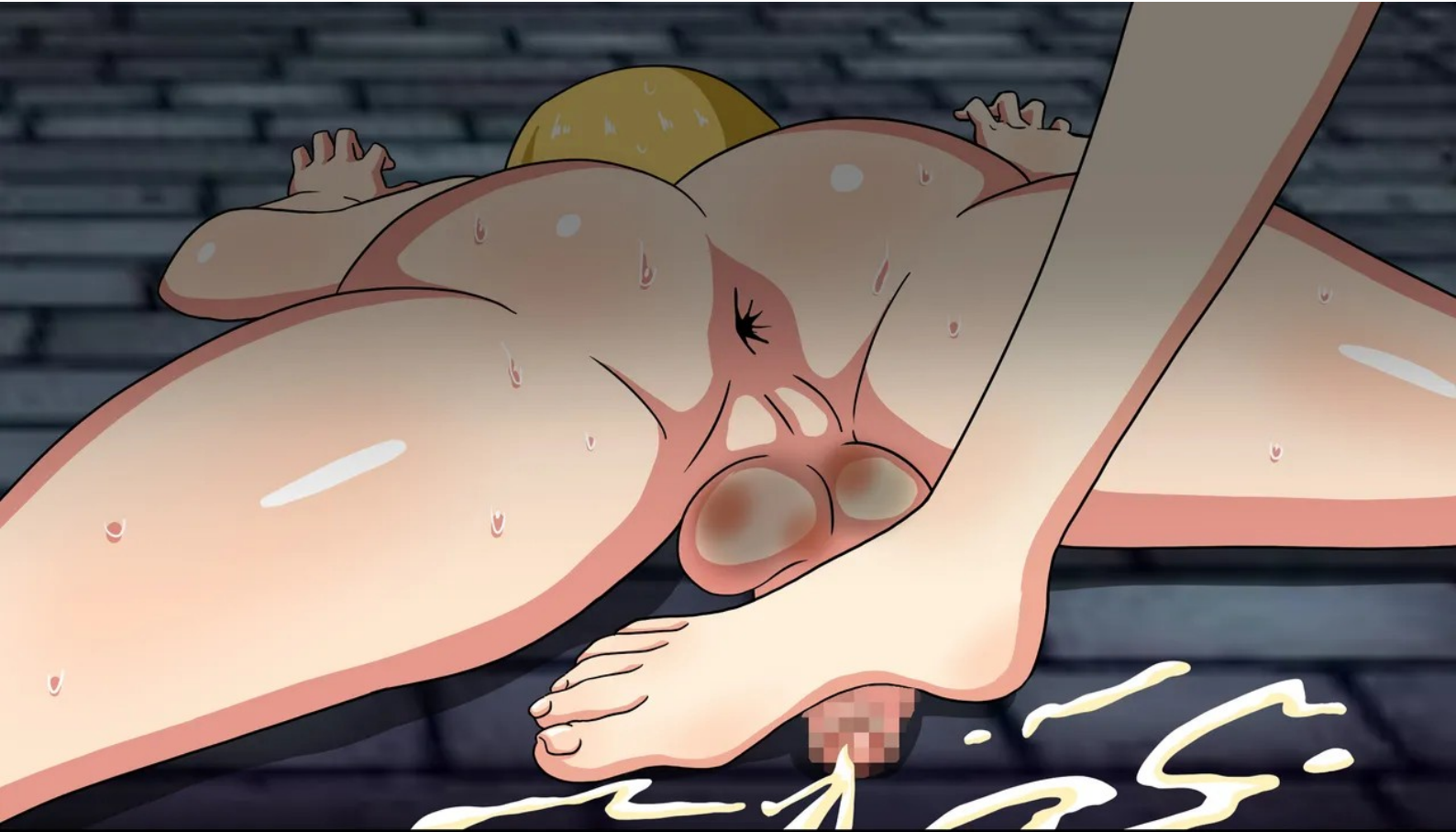












ケイ：
あなたの
お父さんはね

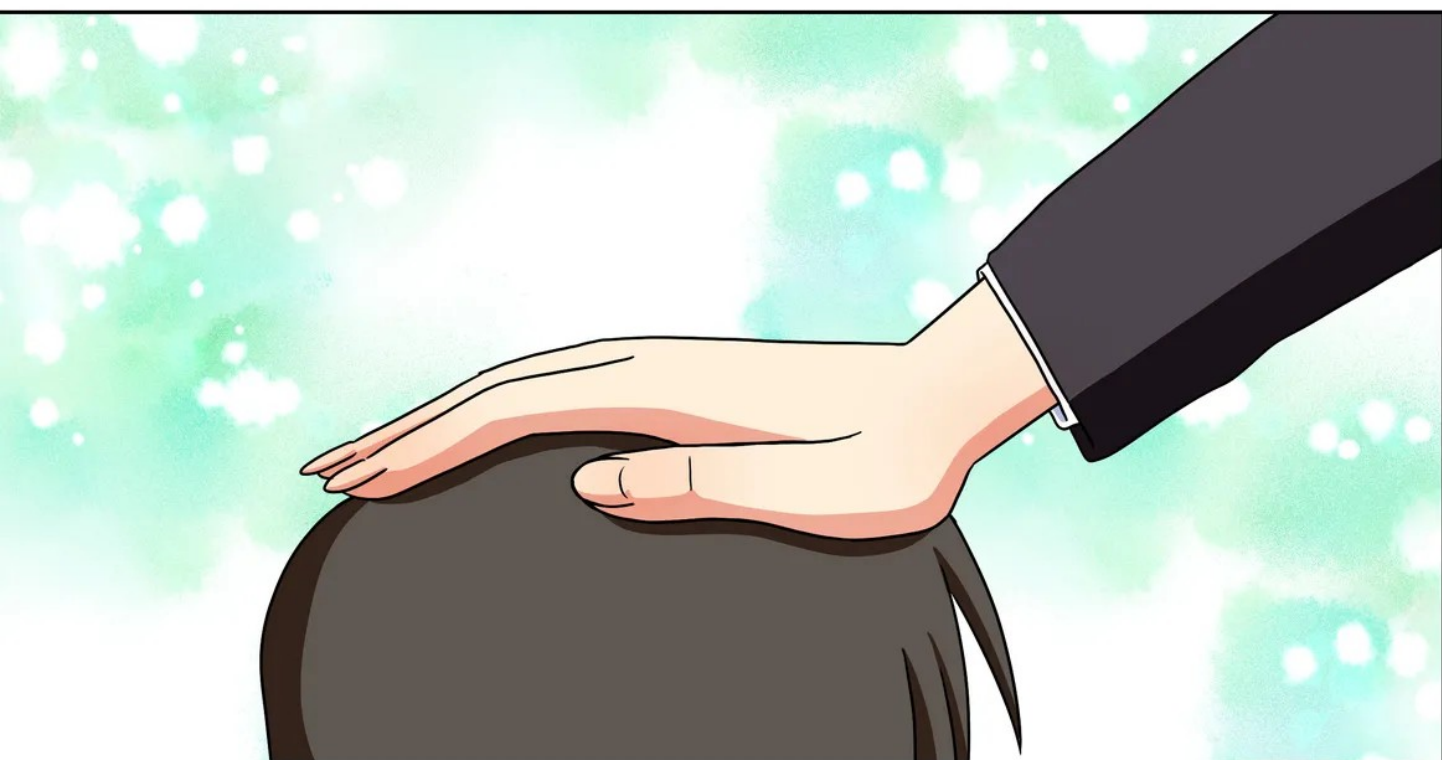
私やアナタよりも
他の女を選んだのよ

私はケイに
そんな無責任な
大人になって
ほしくないわ！

うん：
お母さん

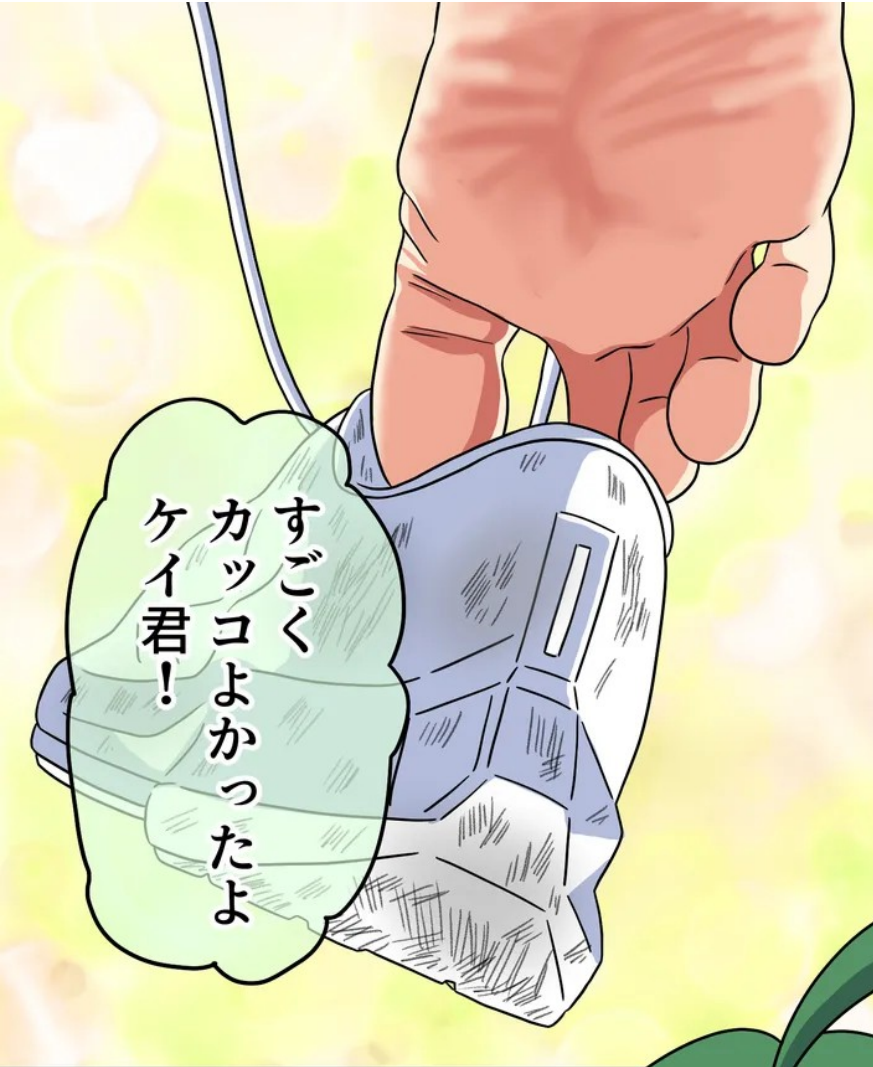
ケイ
覚えておいて：
浮気するような
男はみんな

寂しがり屋な
ただの
快楽主義者よ









すごく
カッコよかったよ
ケイ君!



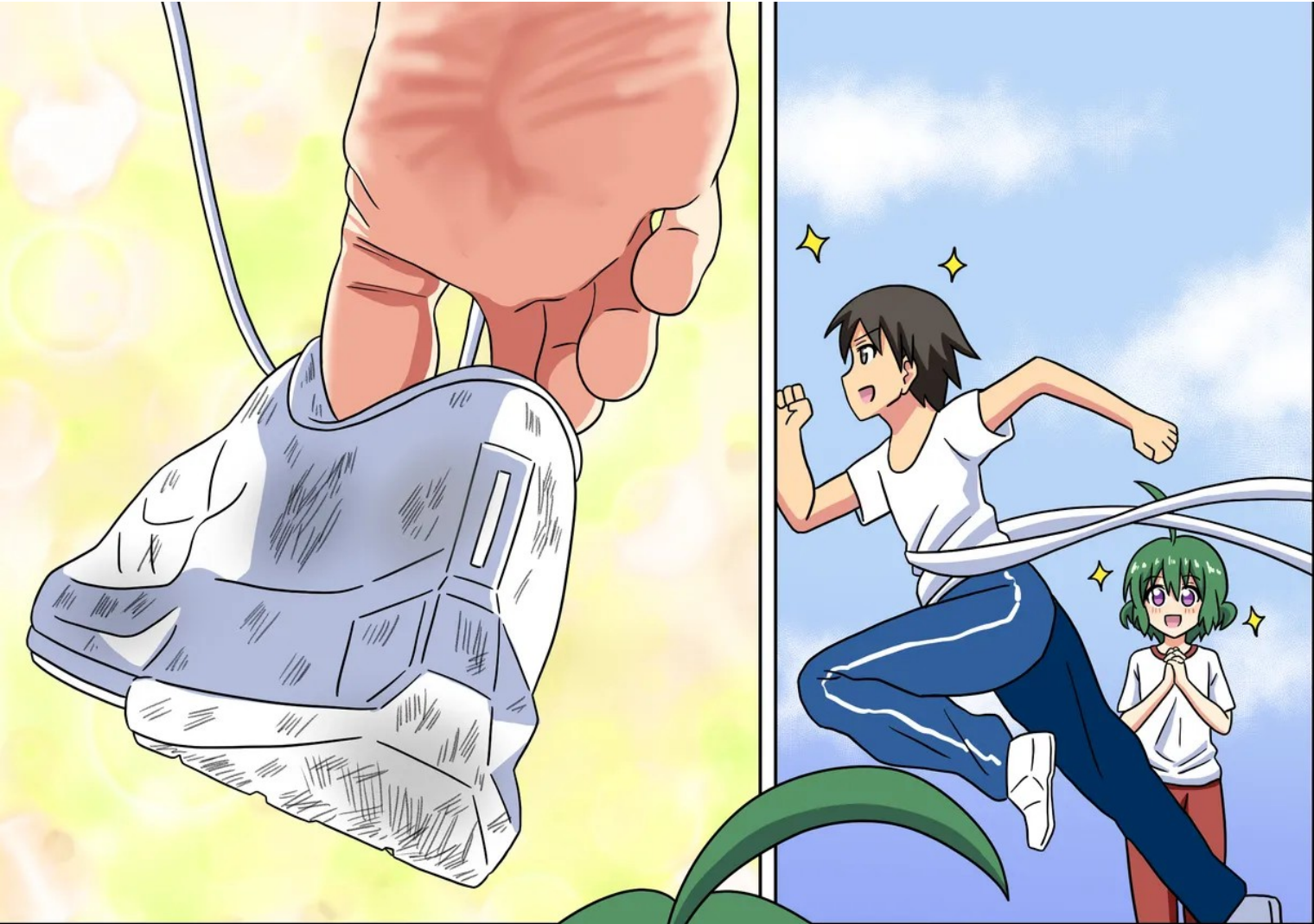
そしてイノリに
かっこいいところを
見せれば…



ご褒美に
私の靴の匂い

いっぱい
嗅がせてあげるっ♡

モわぁ…♡





私も
練習いく…

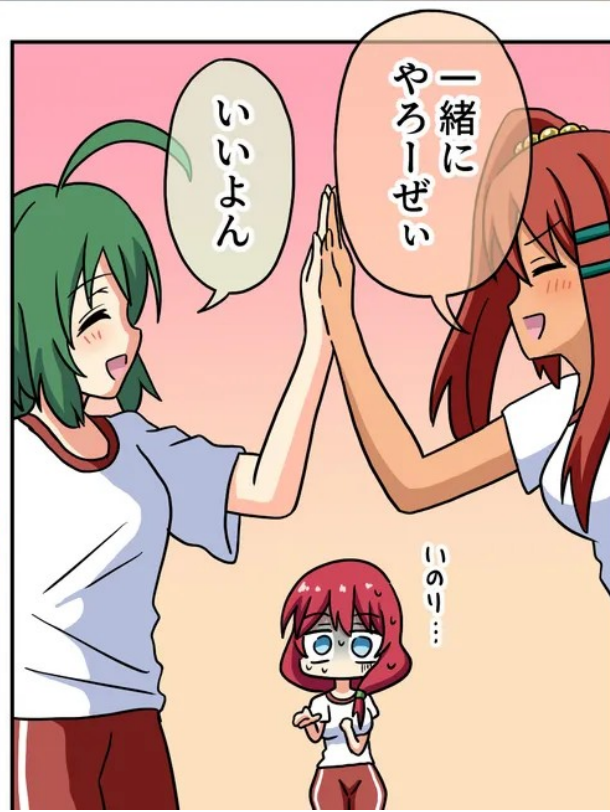


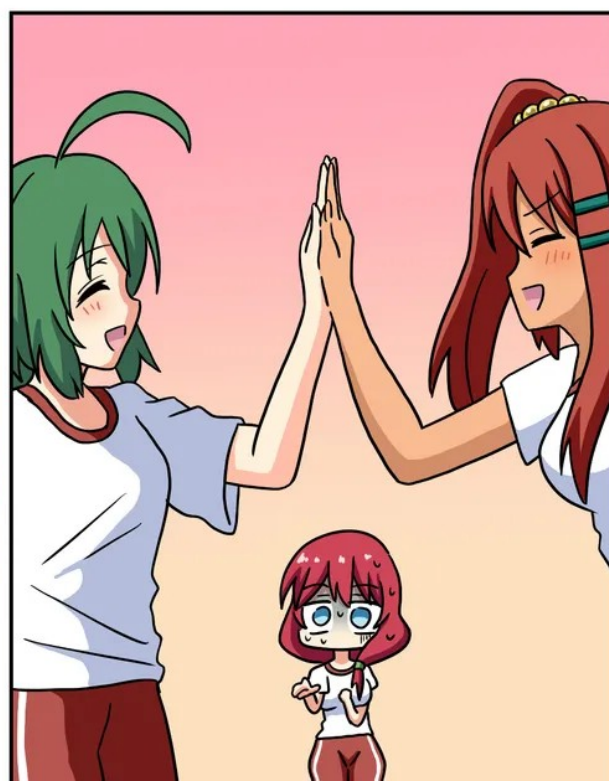




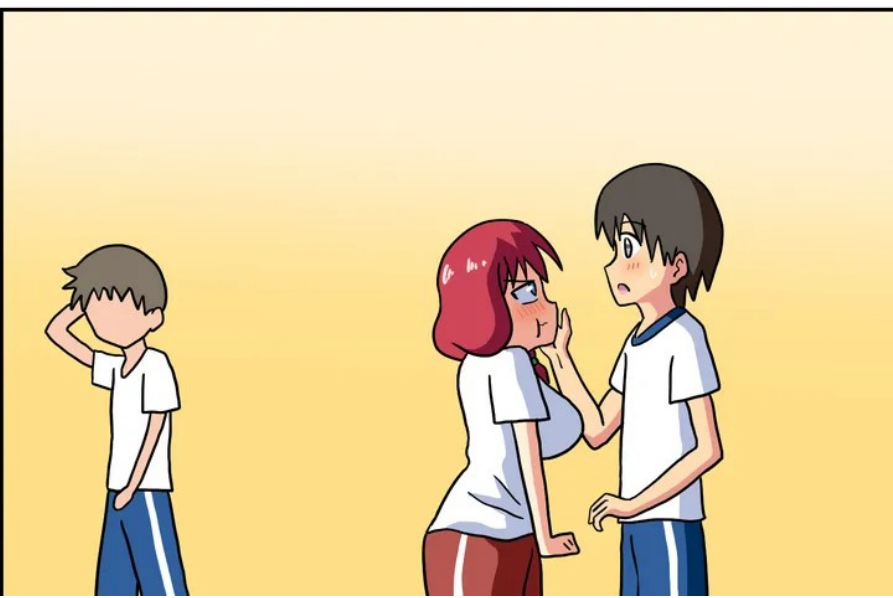


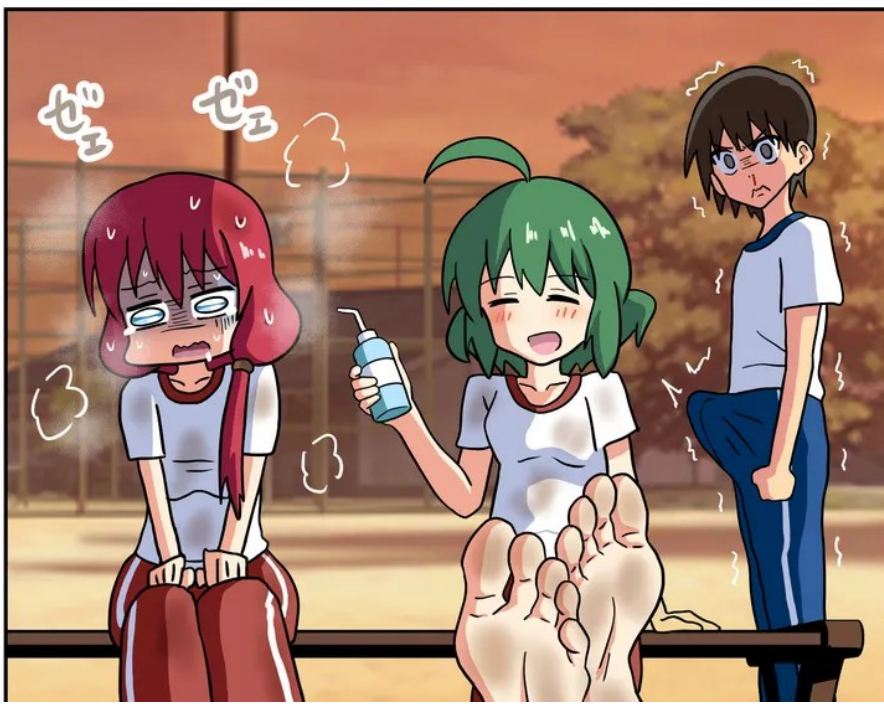


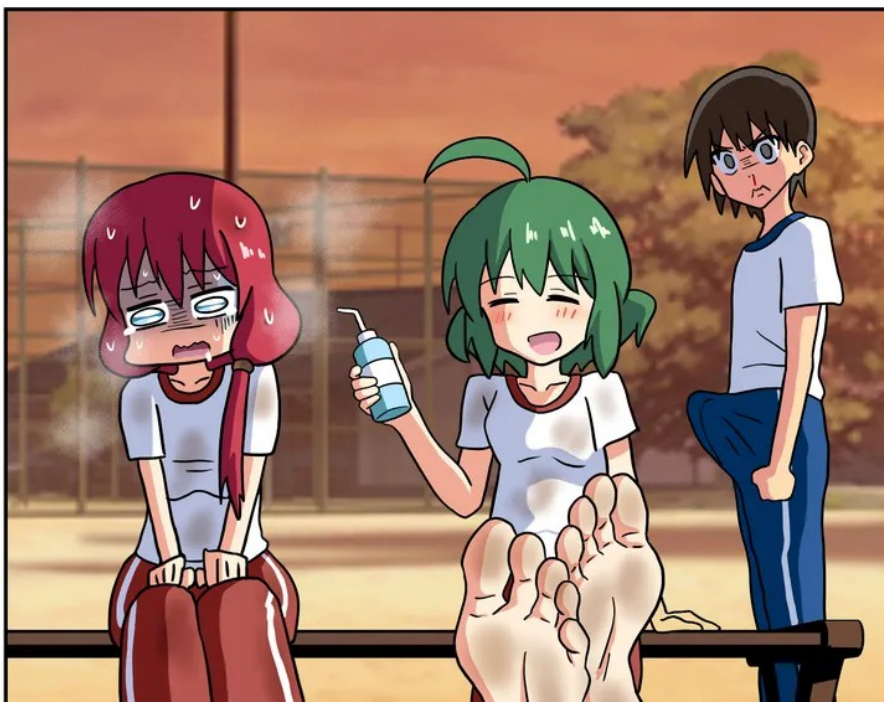






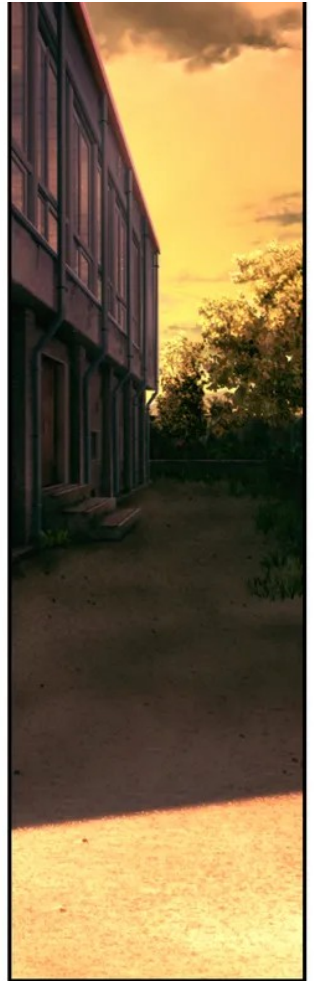










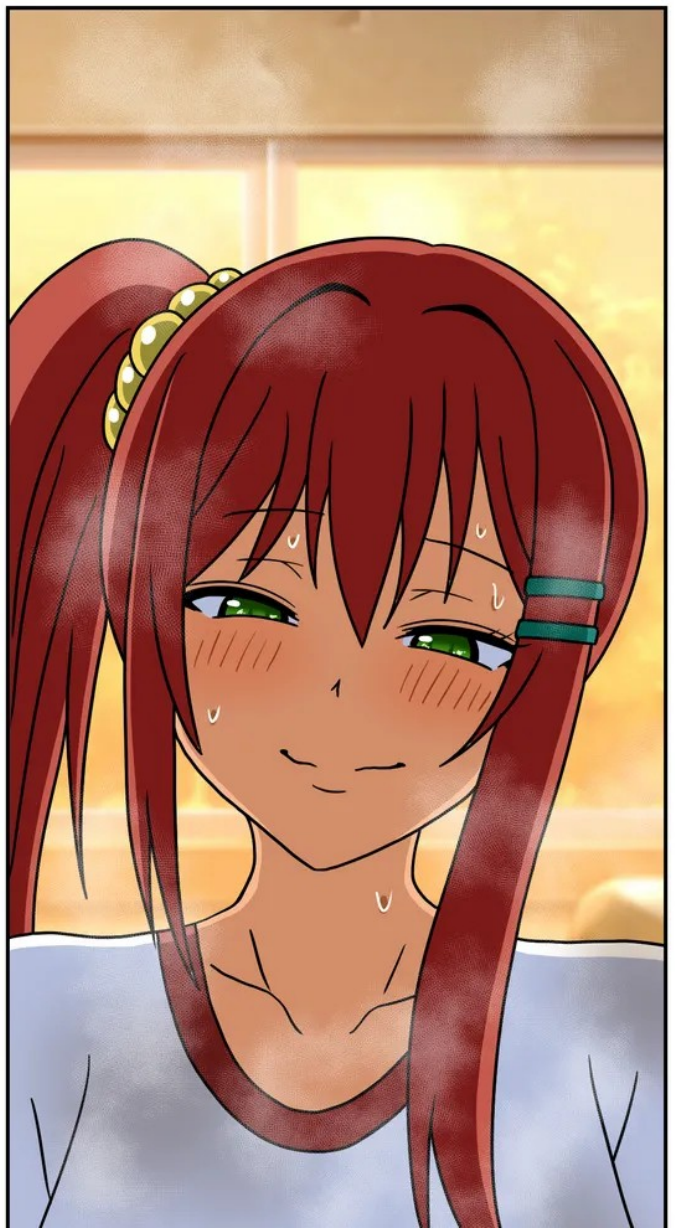
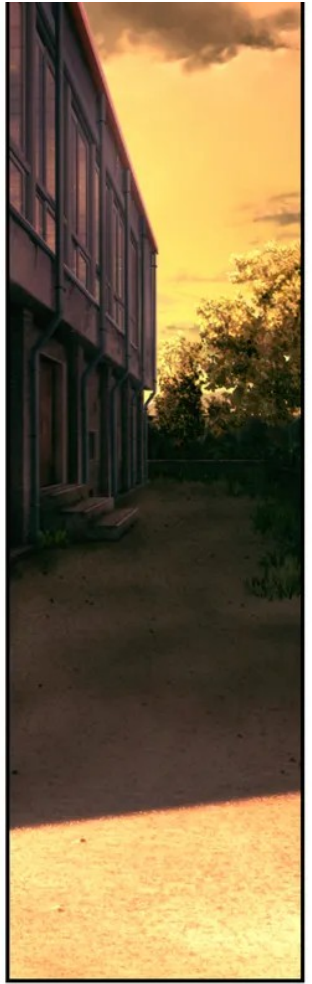


んむおおおおおおおっ♡

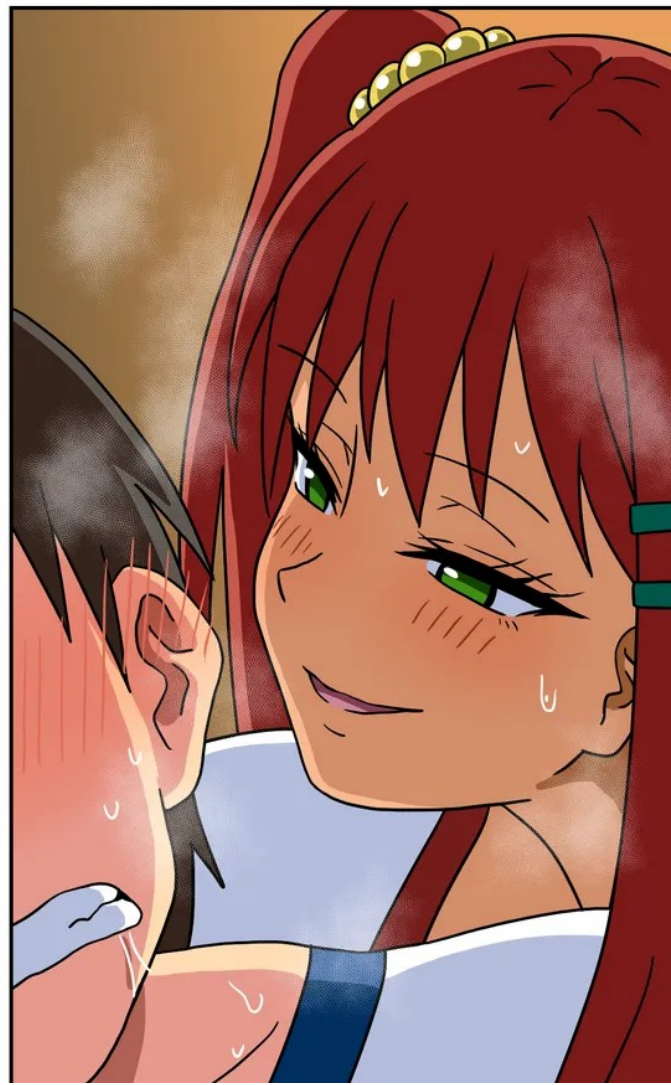


うちの汗で
ムレツムレの
靴の臭いだよお♡

ケイたん
どうお?♡









あっは笑



待たない♡

ふっ♡

へっ♡



そろそろ
かなあ...♡

ぽっ



ん？

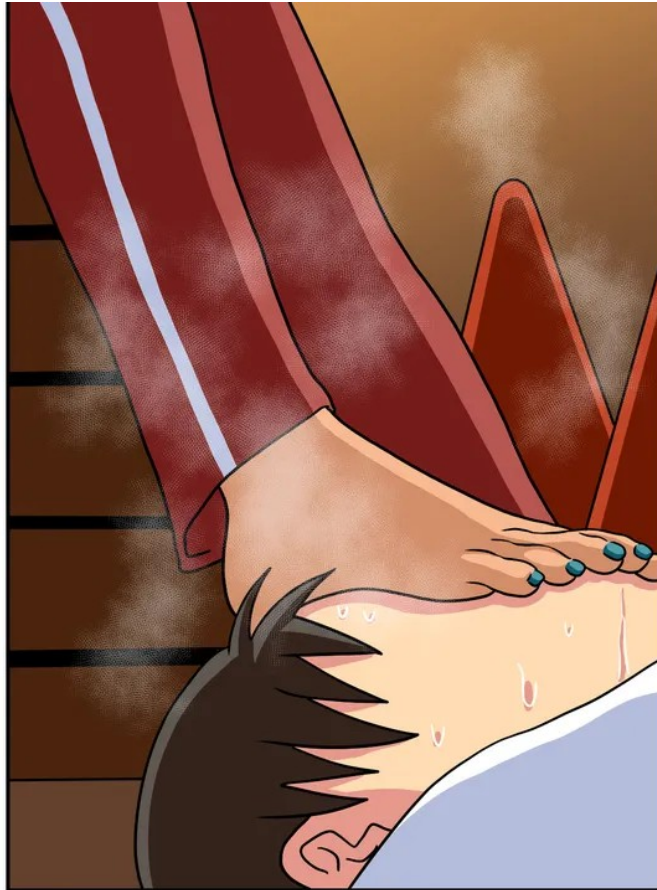
つと...

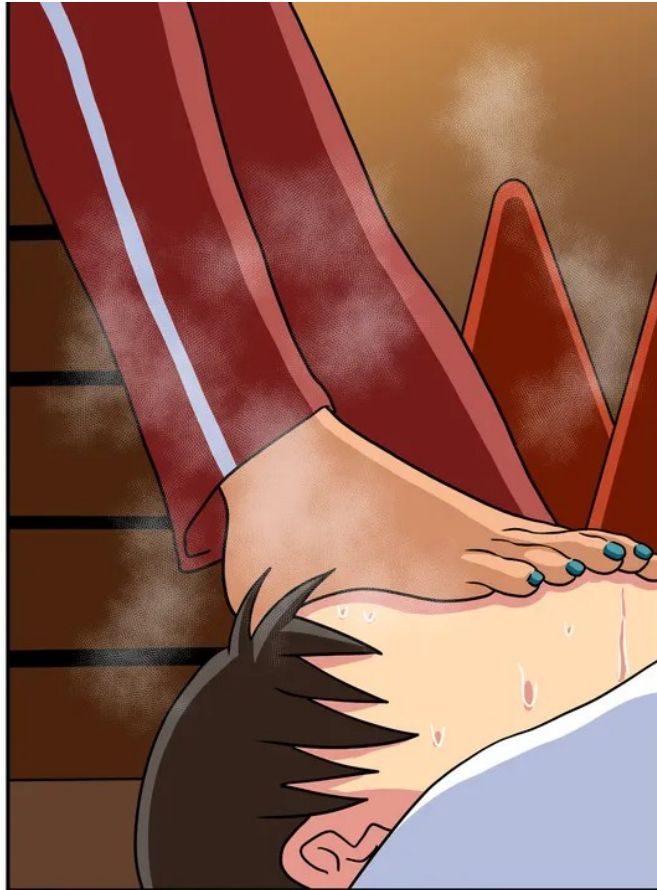


ケイさんの
チンポ
やっぱあ...♡

ドクドク
脈打ってるし♡

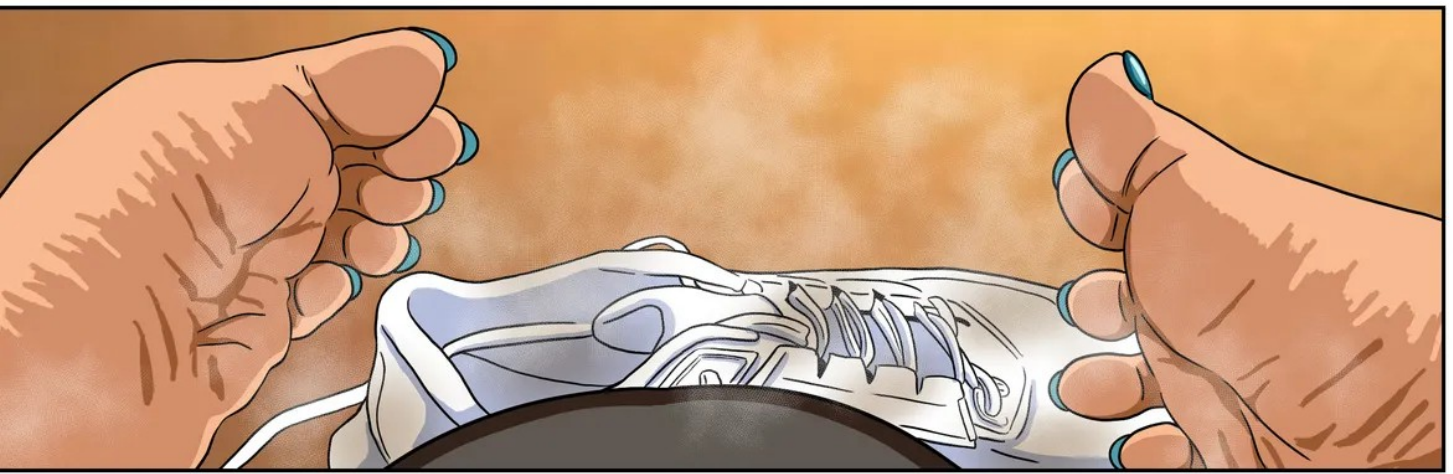
へっ♡



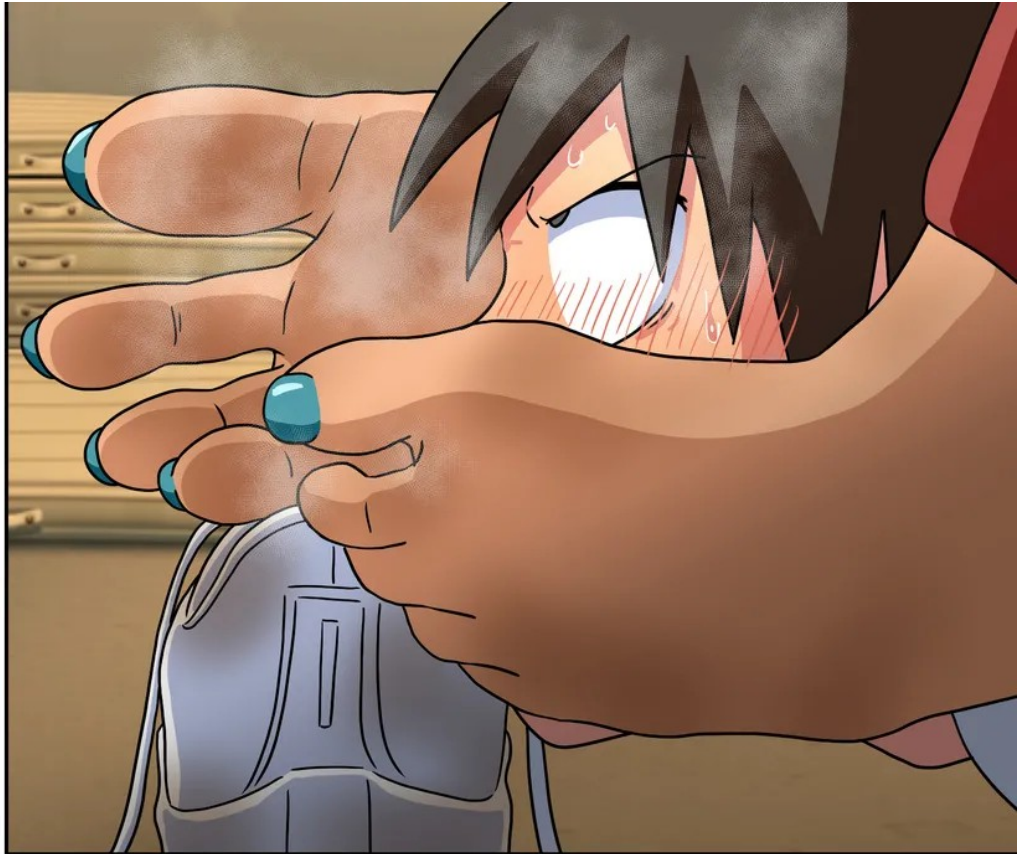




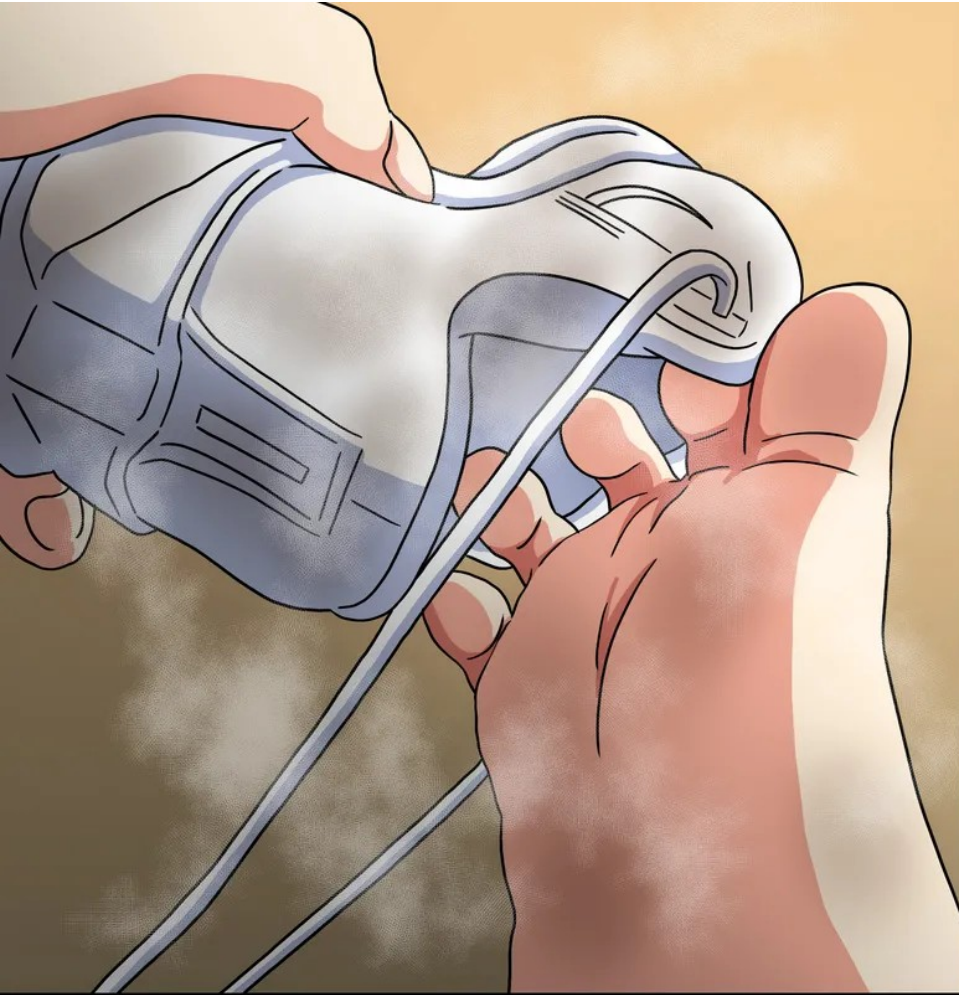


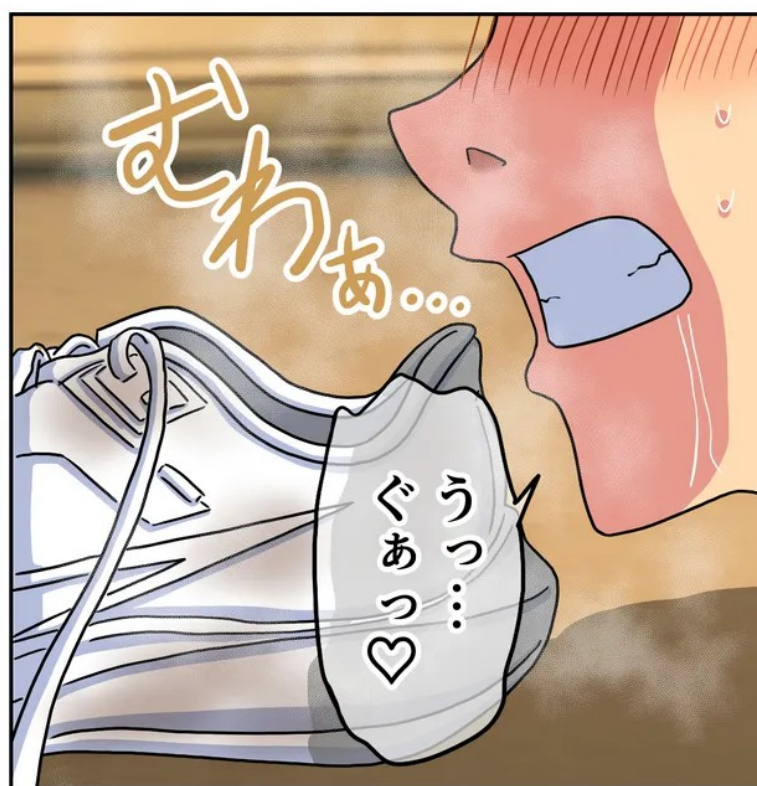
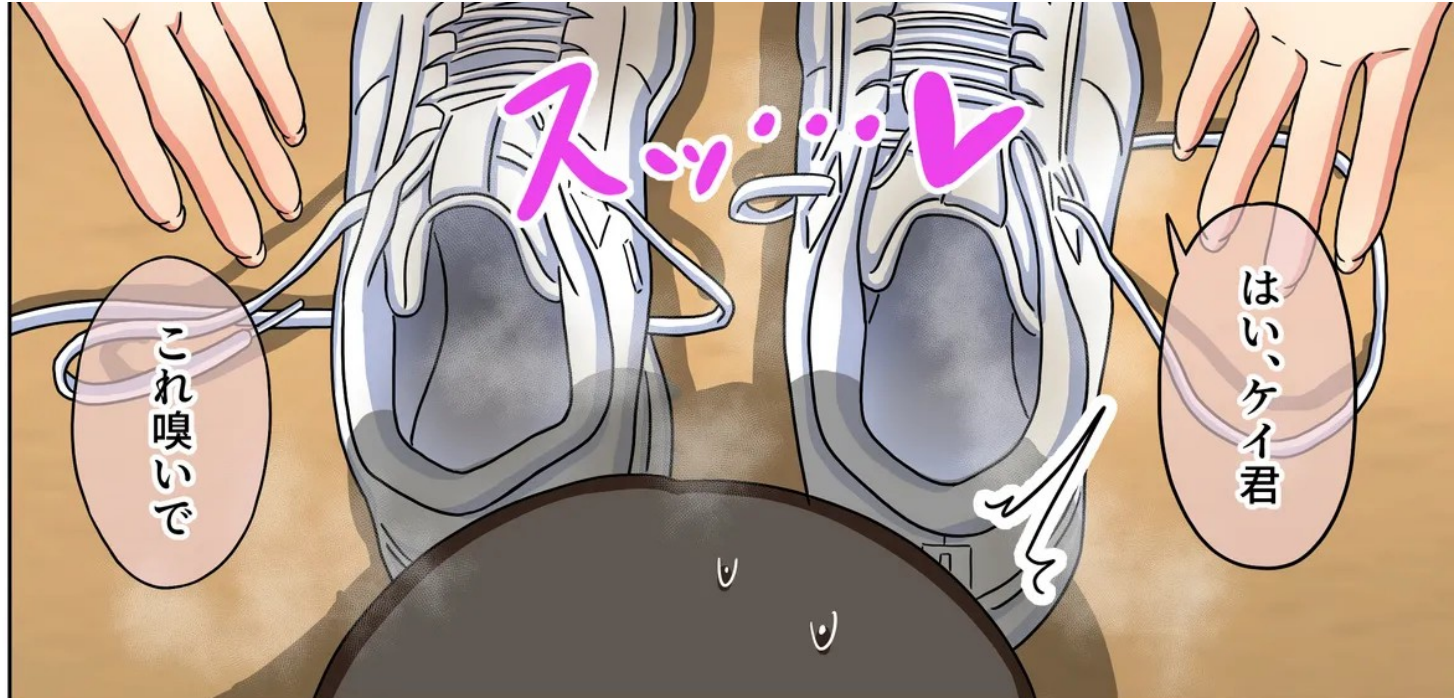


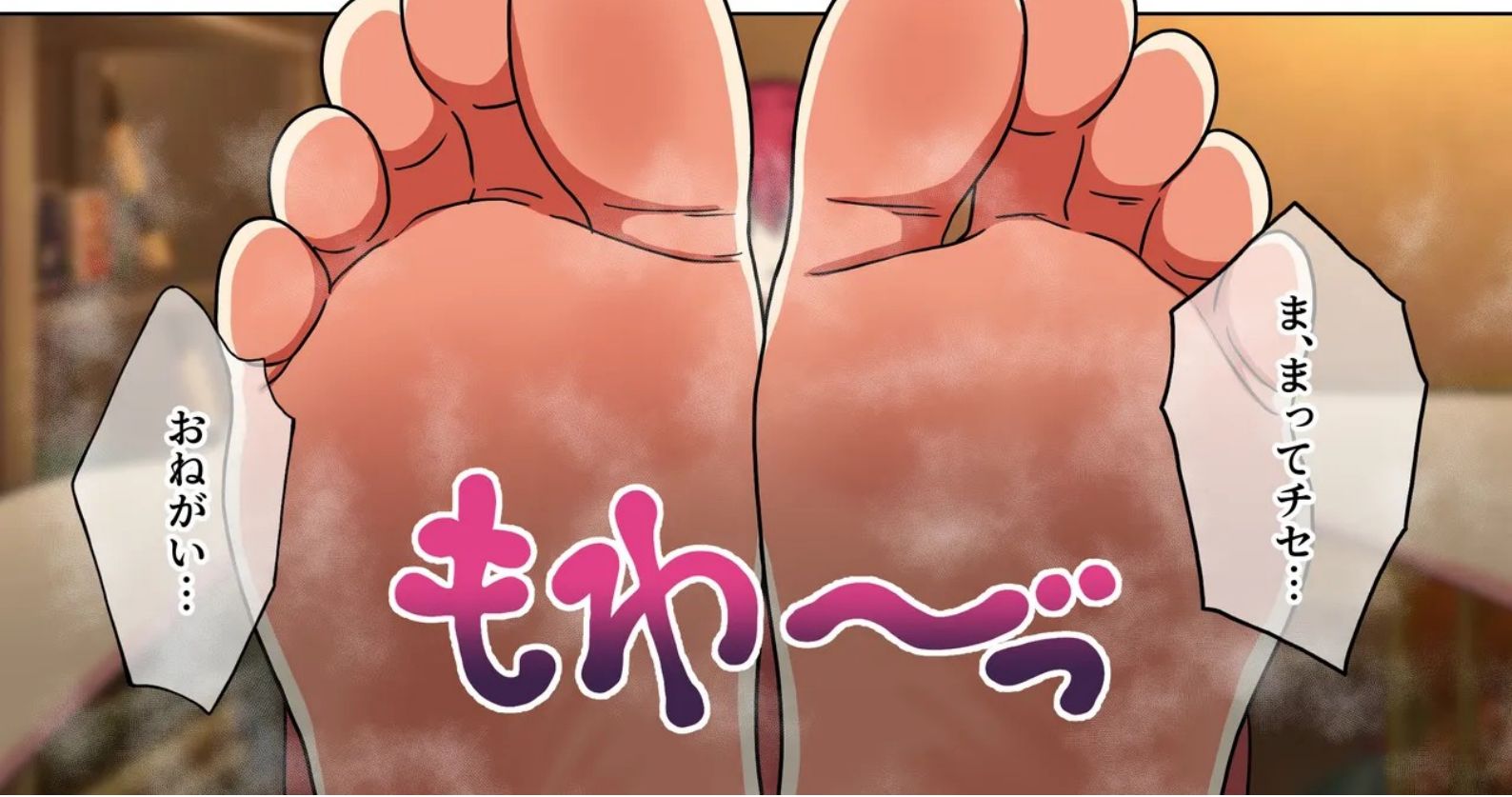


















そういう顔に
なるなるっ!!

チセ、分かるよっ!



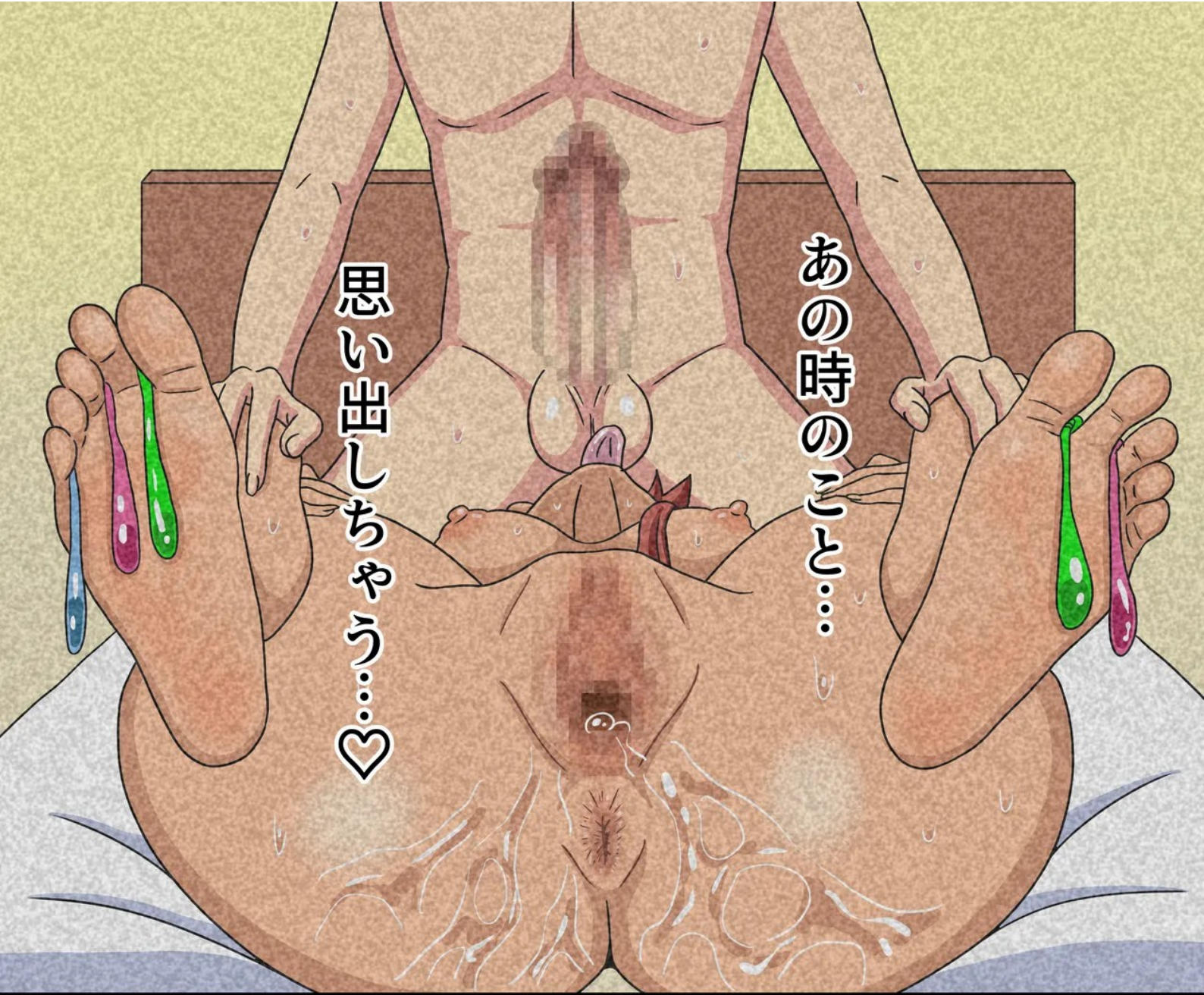
ケイさんのチンポって
筋肉ついてんのっ!?



ウチらの足の臭いを
嗅がせすぎた…?!

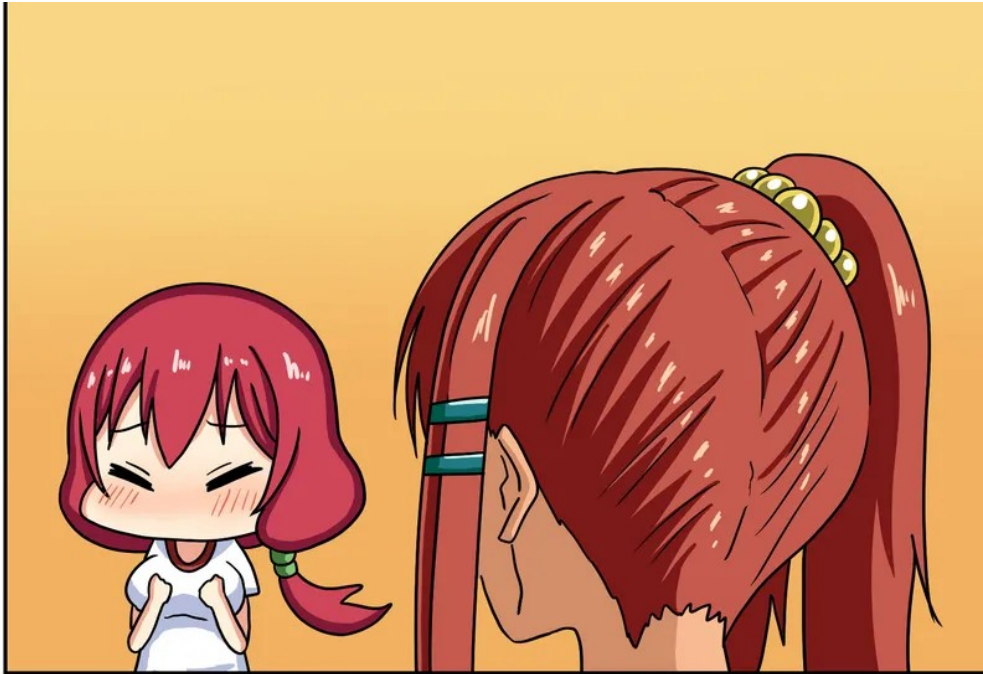
てか、ちよつと
マズイかも…♡









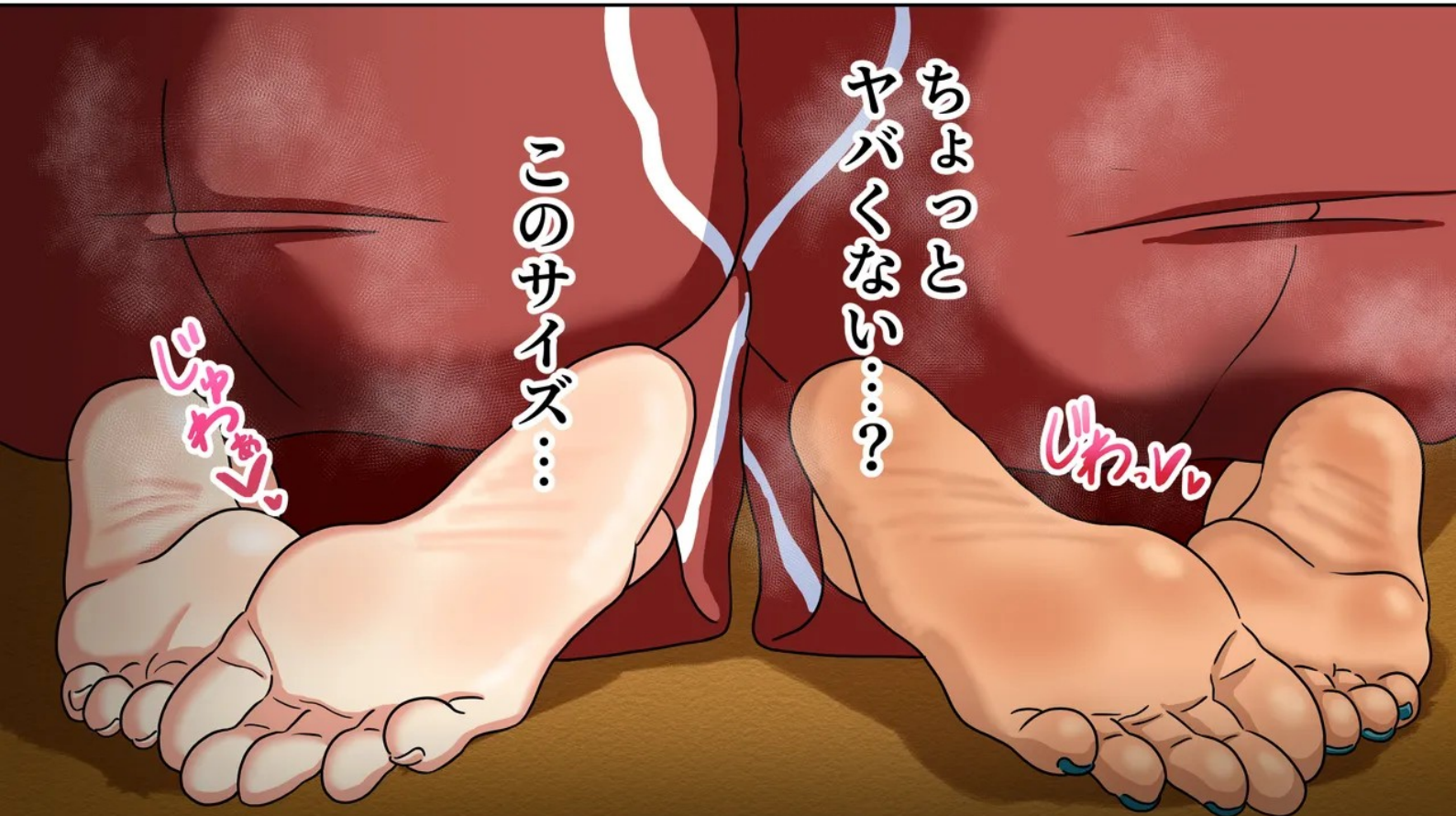




…え？

ビクン♡

ビクン♡

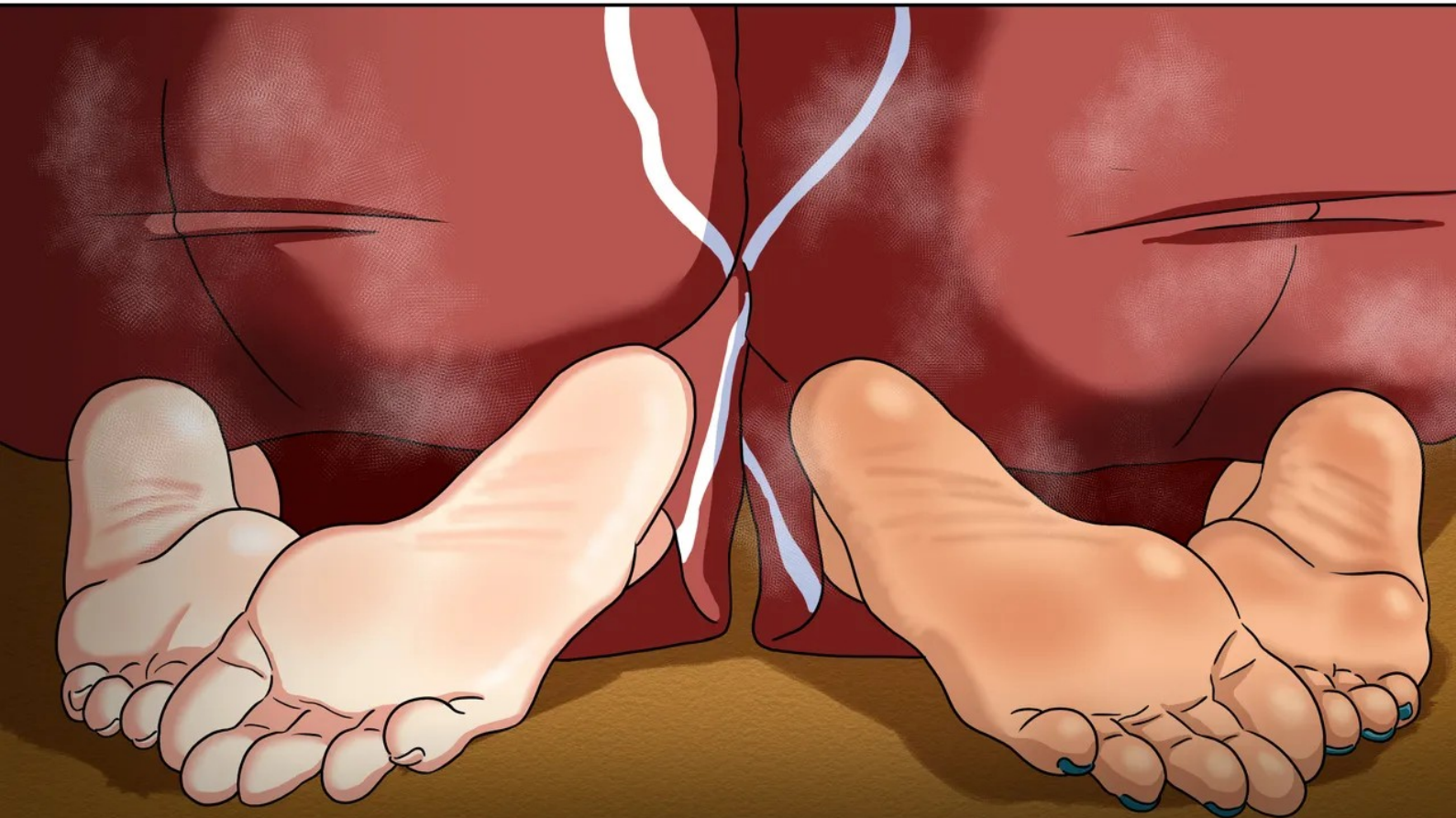


ちよつと
ヤバくない…？

このサイズ…

じゃわん♡

じゃわん♡





サイズだけじゃない！
匂いもすごっ…♡

これ絶対に
女の子が嗅いじや
ダメなやつだッ♡



ホントはウチが
ケイたんを
独占したかったけど…

こんなの挿れられたら
ウチのおマンコ
ぶっ壊れちゃうし…



あゝあ…♡
チセは完全に
キマっちゃったみたい…♡

もうチンポのことしか
考えられないって顔してる♡

んぽ…♡

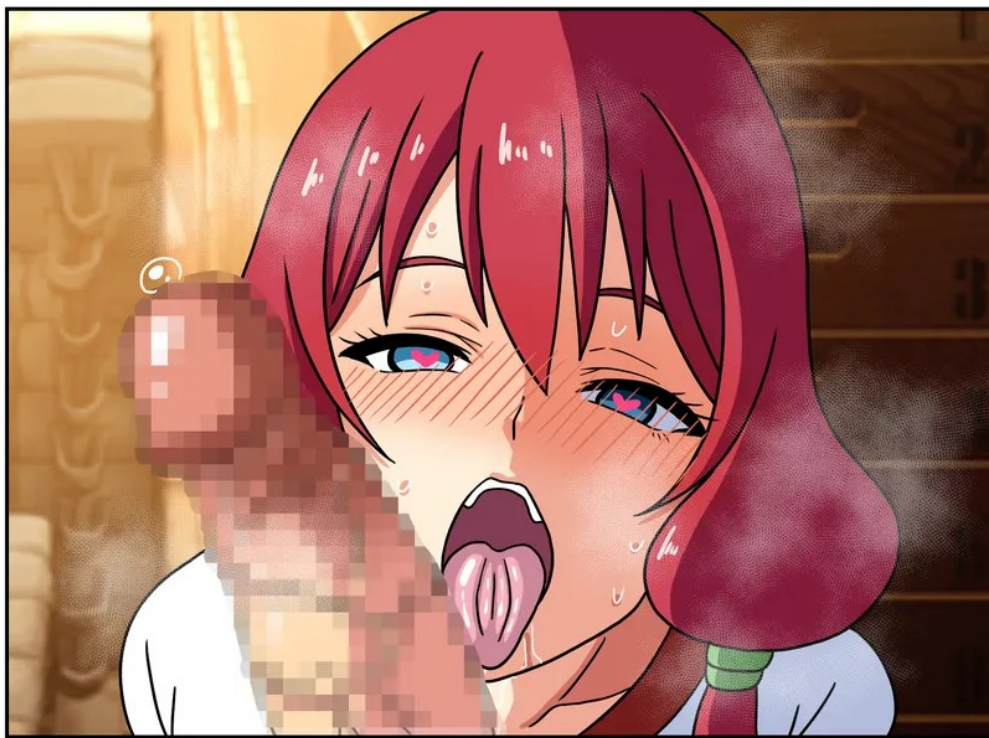
んぽ…♡



2人がかりで

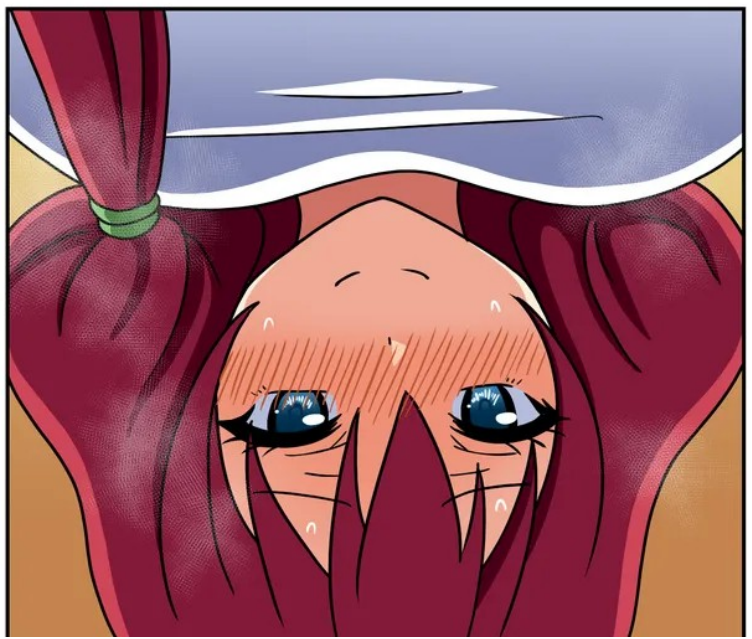
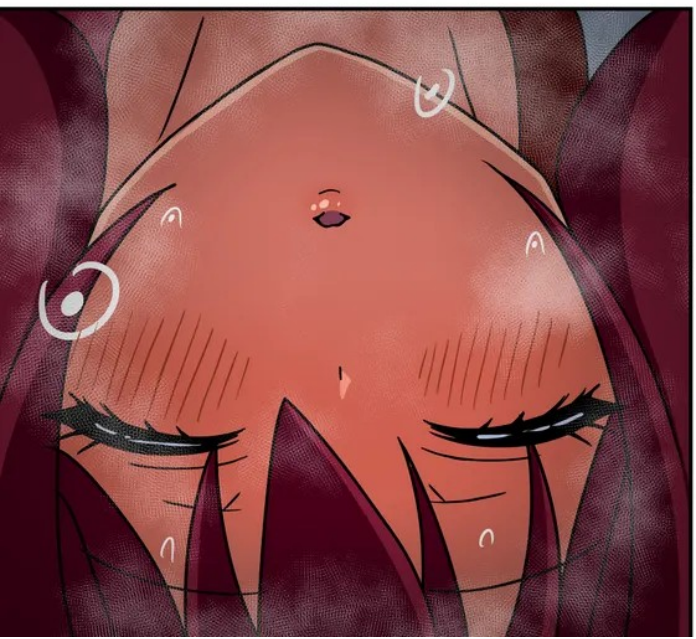
少しずつ
弱らせるか…♡

んぽ…♡

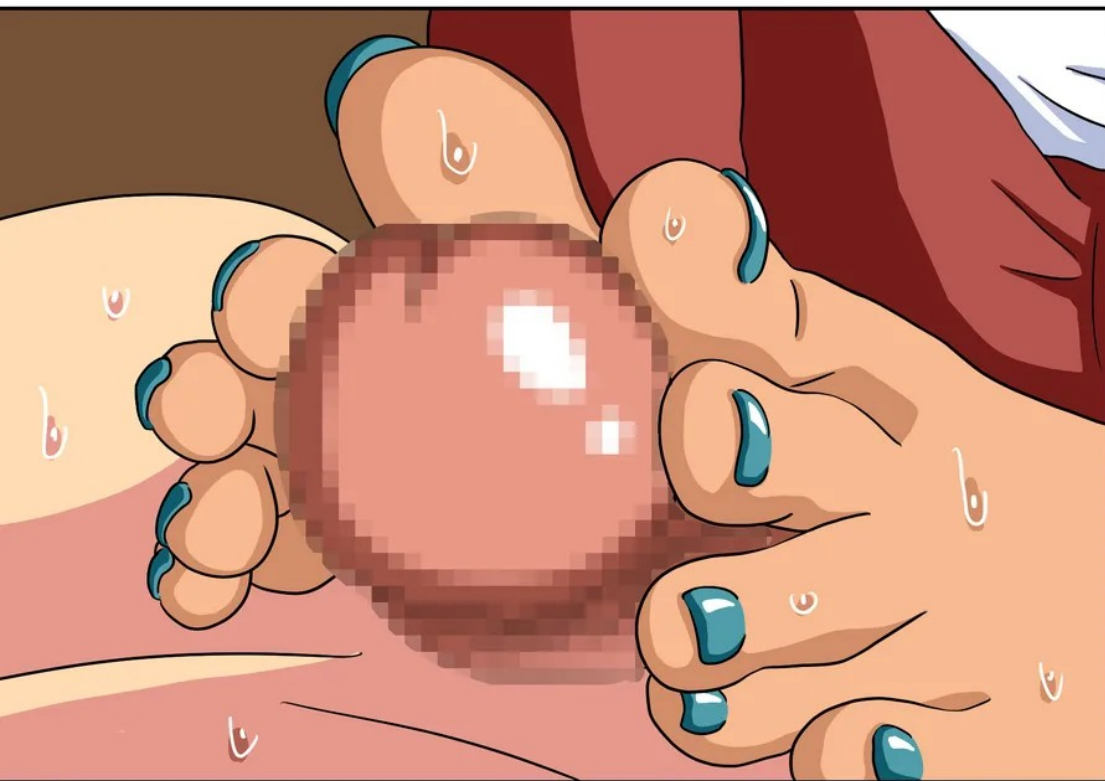
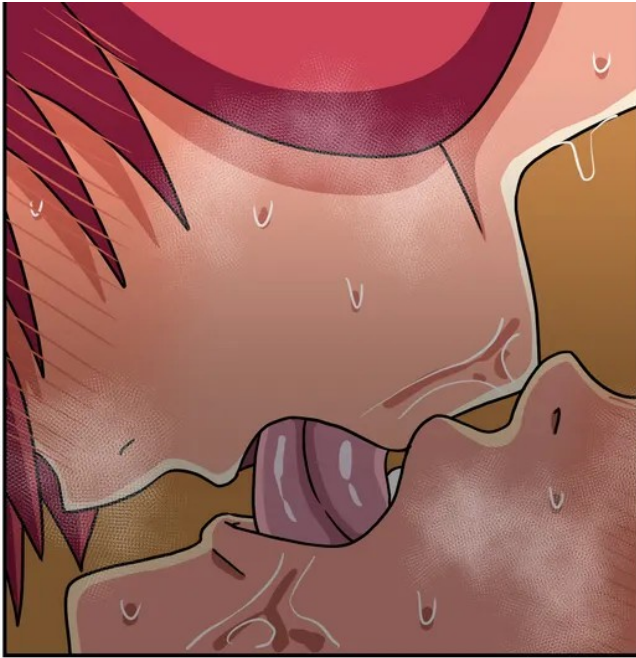


数分後…











このまま
射精しなあ♡

メロメロ♡

ウチの
足コキで…



はい
一発目え♡

びゅる♡

んいぐううッッ!!♡♡





じゃあ交代ね
チセ!

う、うん...っ



おっ!

うわっ!

ドッ!

ドッ!



ケイたくん♡
これでへばるわけ
ないっしょ?♡

休むヒマなんて
与えないかんね♡

モわ...♡

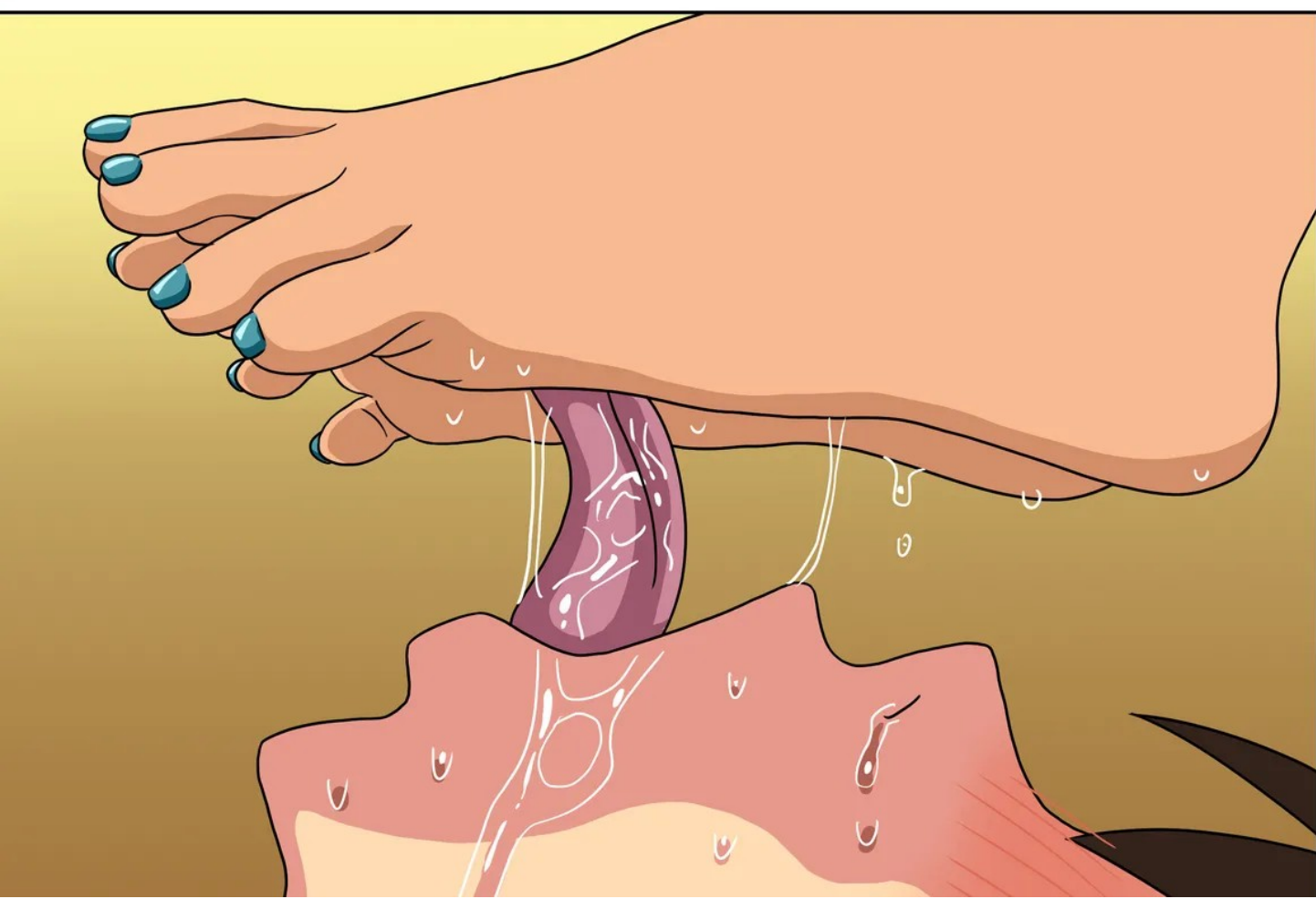




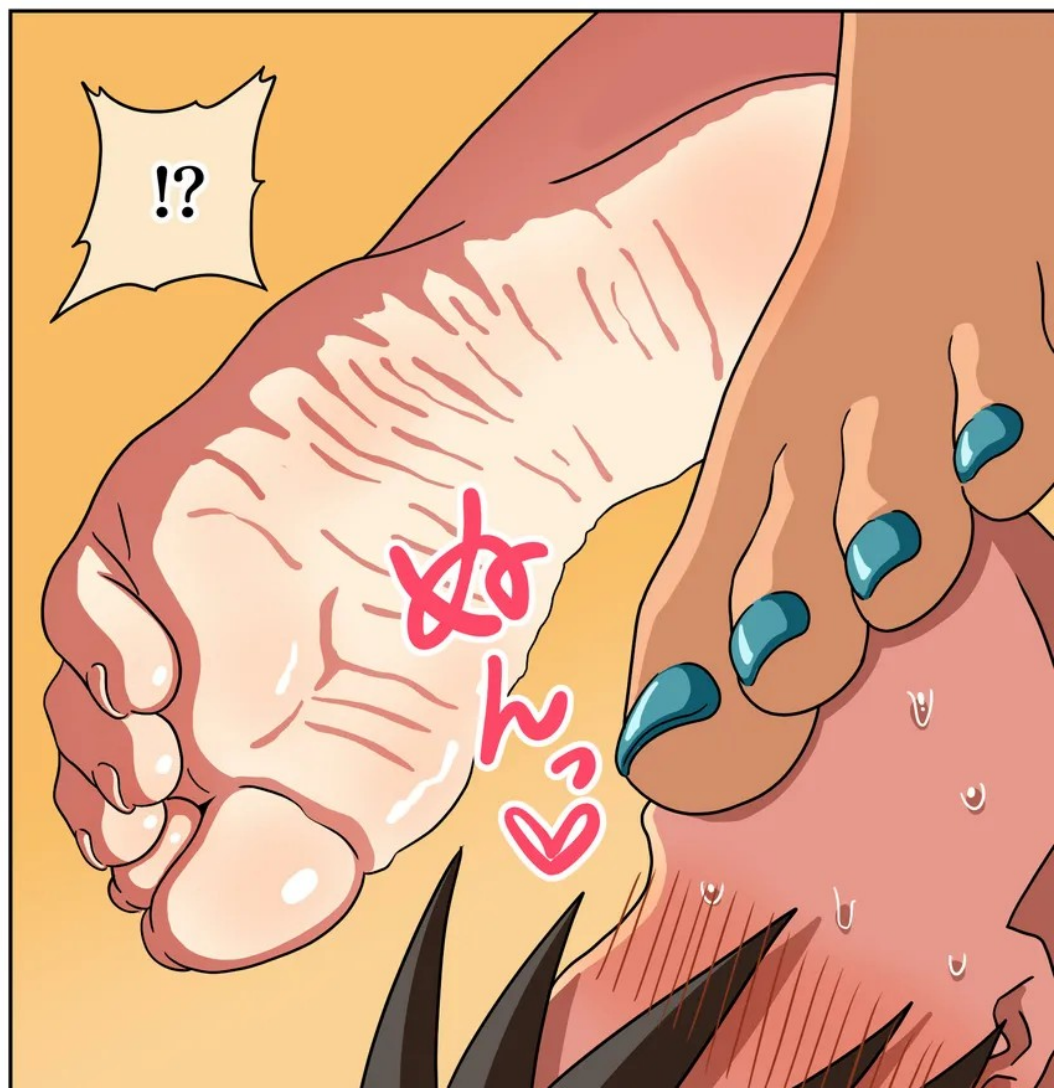








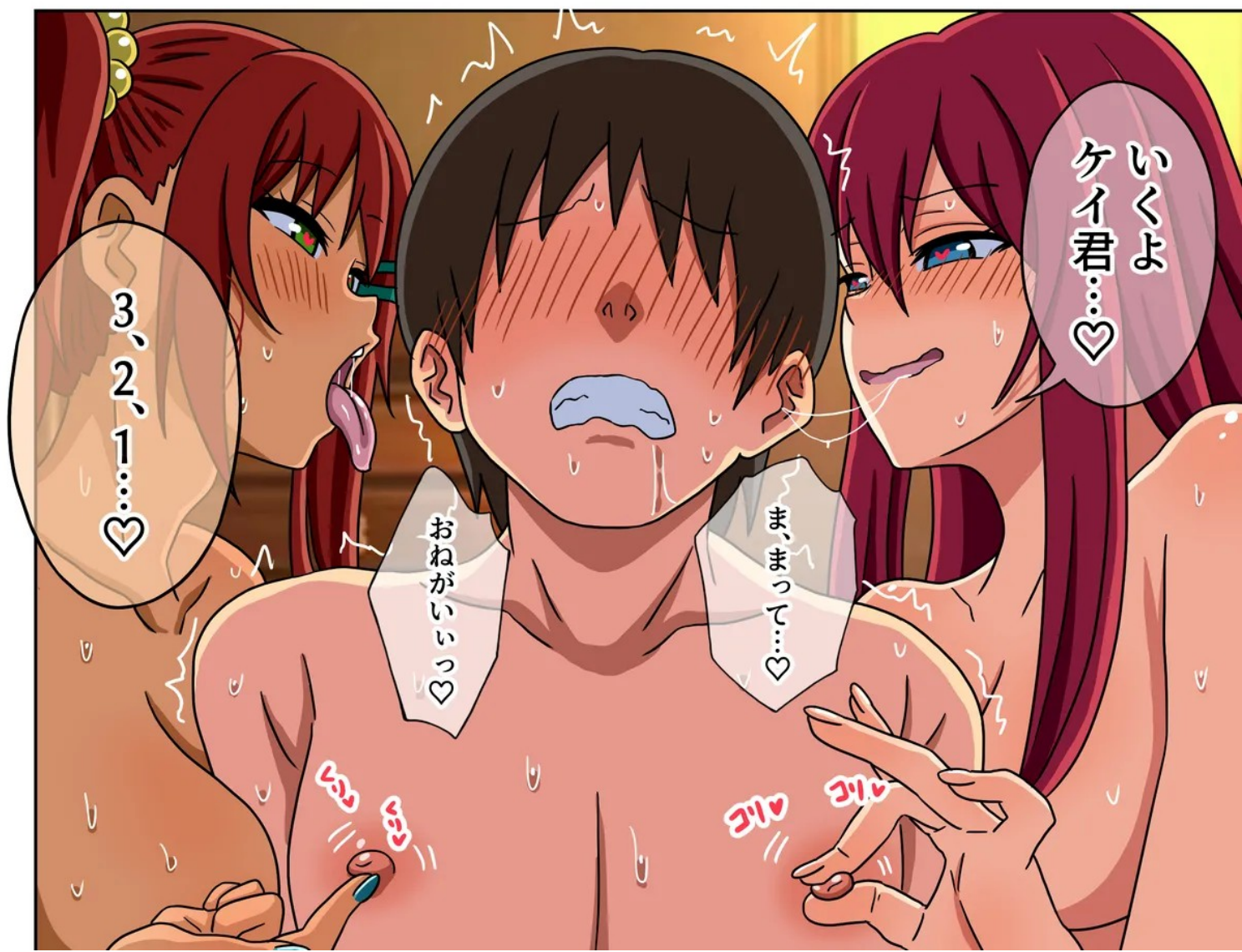


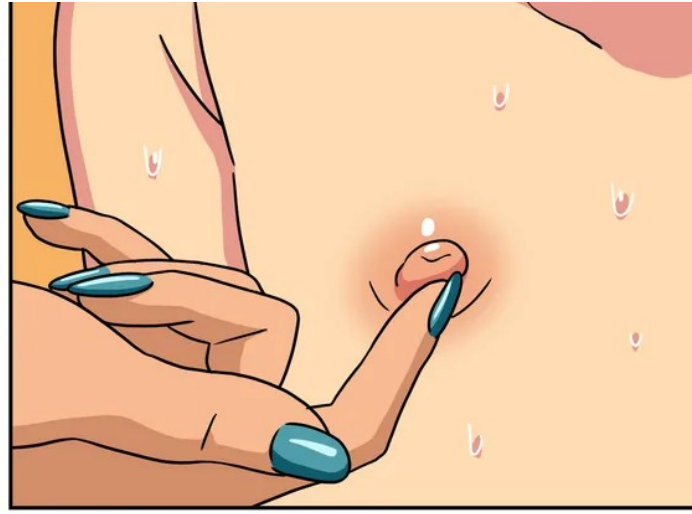












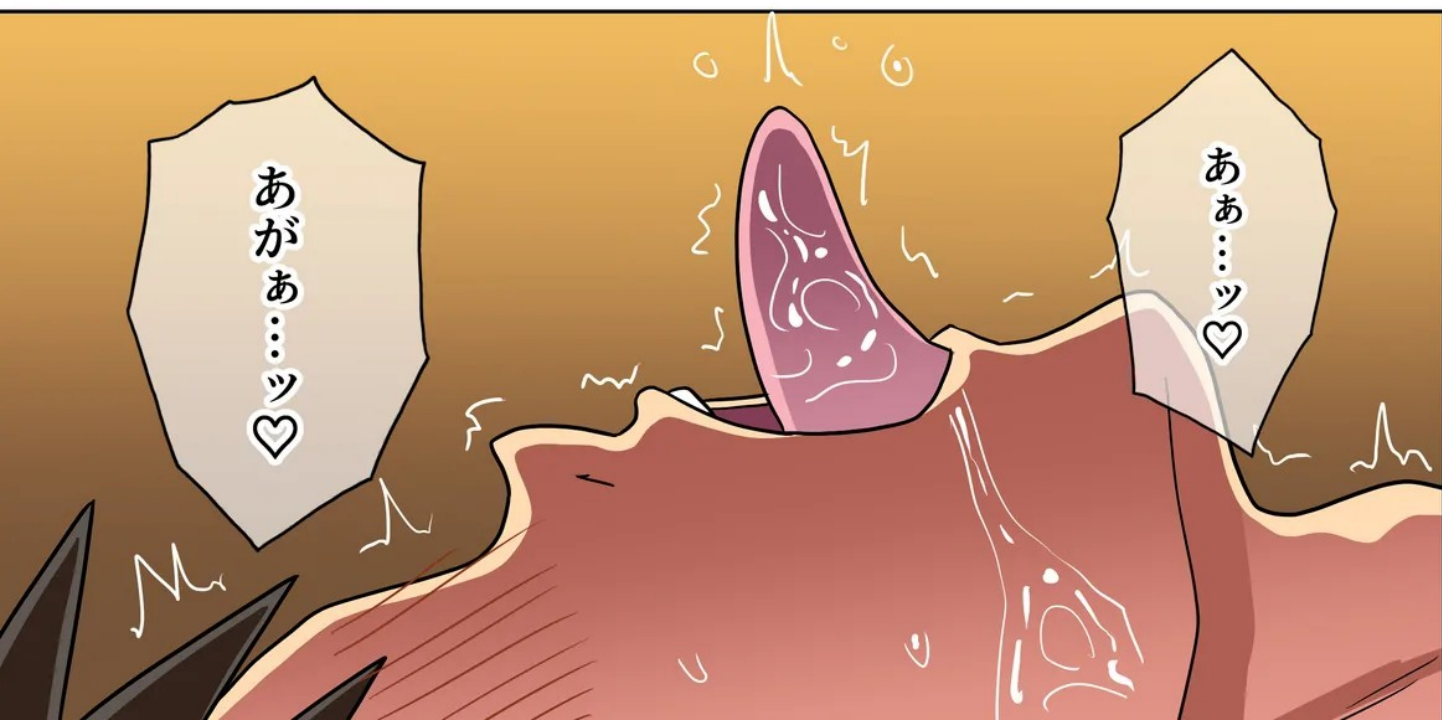


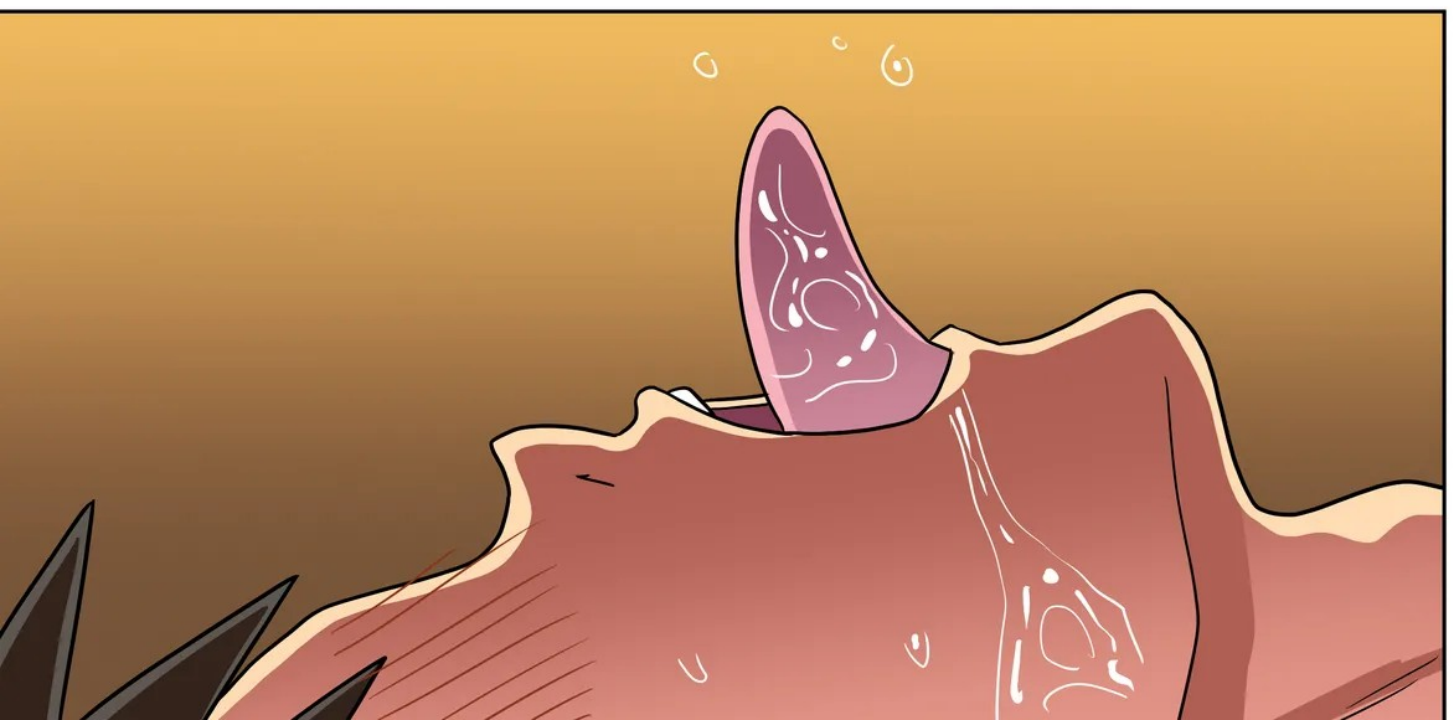






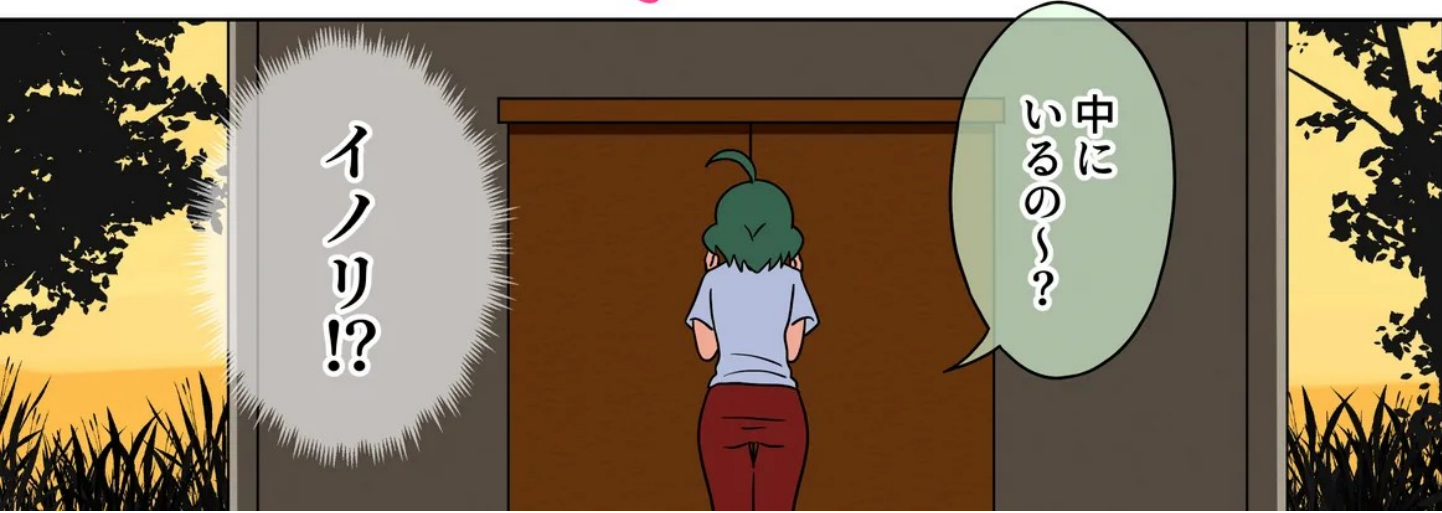
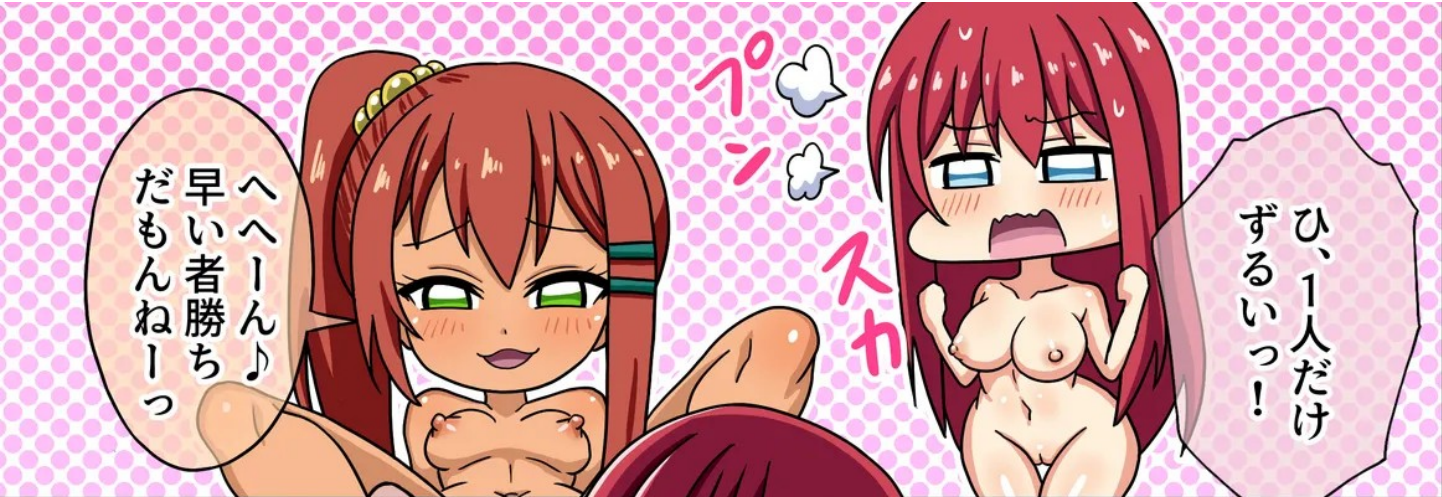




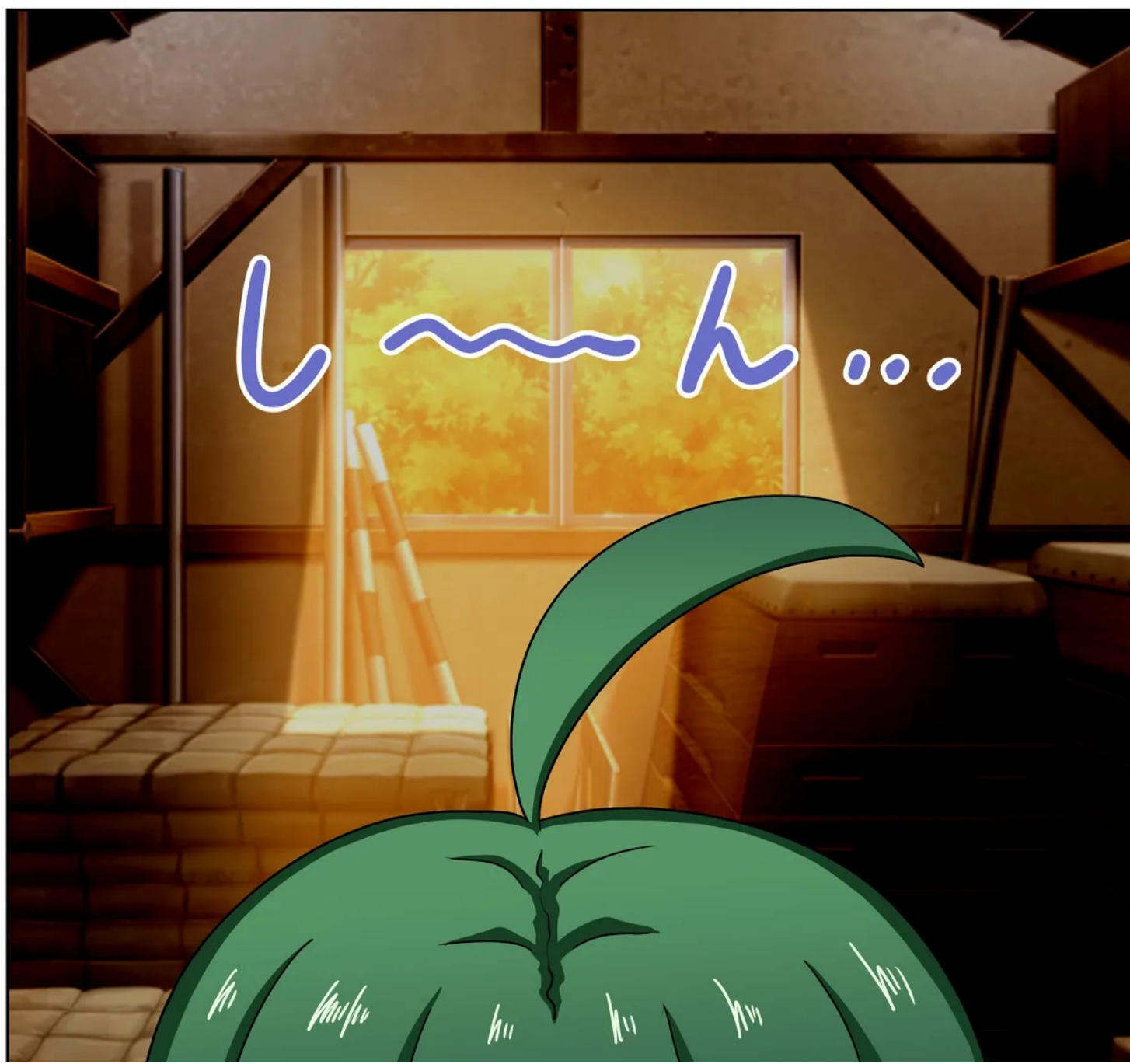






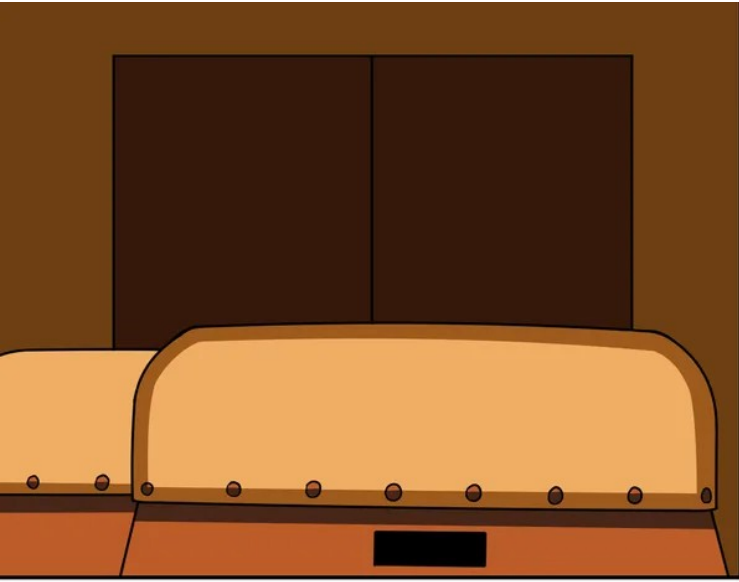












イノリが
私たちを探してる…
早く戻らなきゃ…

でも…うわあ…♡
ケイ君のおちんちん…
私の太ももの中で
ドクドク脈打ってるよお…♡

